

THE KANSAI UNI

Osaka, March 30th



UNIVERSITY BULLETIN

1968, No. 350.

關西大學學報

昭和 43 年 3 月 第 350 号



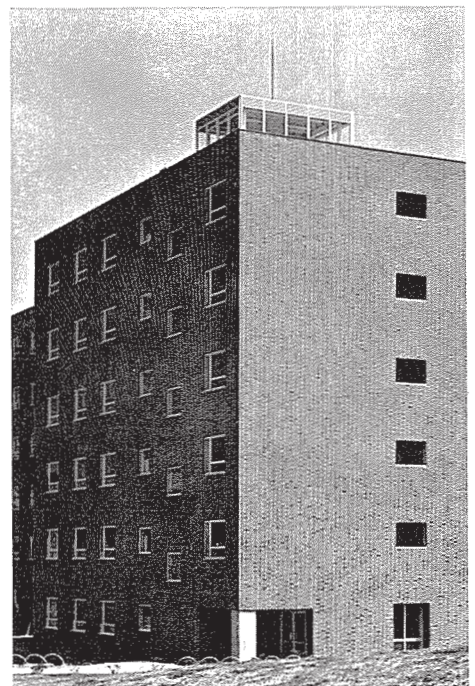
關西大學出版部



(上) 社会学部学舎
(下) 同研究室

目 次

ベンジャミン・H・ベックハルト博士 講演会要旨……………	上川昭三 1
学 内 報……………	4
主要行事日誌……………	6
学会だより……………	11
学 会 出 張……………	12
学 生……………	16
学生主要行事日誌……………	17
校 友……………	20



表紙写真：第1グラウンド、図書館

ベンジャミン・H・ベックハルト博士

講演会

上田 昭 三

経済学部助教授



昨年六月十三日、アメリカにおける銀行論および金融制度論の権威者であるコロンビア大学名誉教授ベンジャミン・H・ベックハルト博士 Dr. Benjamin Haggott Bechart をむかえ、経済学部・商学部共催のもとに千里山第三学舎E三〇一教室において特別公開講演会をひらいた際の講演内容を略記する（以下文責筆者）

〔演題〕戦後における米国の経済の動向

〔要旨〕第二次大戦末期における米国の戦費支出額は、国民総生産の約四五パーセントに達するほどに膨

大なものであった。そこで当時の多くのエコノミストは、終戦によってかかる支出が減少すれば深刻な不況が生ずるであろうと懸念していた。しかし実際はどうであったかという点、軍事費支出はたしかに終戦の年たる一九四五年の九〇〇億ドルが一九四七年には九〇億ドルの水準にまで激減したが、米国の経済は不況に陥らなかったのである。その原因は、政府のかかる支出の減少を補って余りあるほどに消費者の支出や建設への支出、また民間企業の設備・在庫投資や地方公共団体の支出が急増し、さらには輸出が伸びたことであった。しかしかかる支出増加の結果、今度はデフレに代わってインフレが戦後の緊要な問題となった。例えば、卸売物価は歴史上稀なほどの急速な騰貴を示したのである。

かかる情勢から、連邦準備銀行は金融引締政策を実施することが、また連邦政府は戦時中の高率の租税を課し続けることが必要となった。にもかかわらず、連邦準備銀行はすべての政府公債の市場価格を額面価格以上に維持するよう要求されていたので、引締措置をとることができなかった。一方、戦時中から課されて

Benjamin Haggott Bechart 氏 (コロンビア大学名誉教授) 略歴

- 一八九七年に生まる
- 一九一九年 プリンストン大学卒 (A.B.)
- 一九二〇年 コロンビア大学にて修士 (M.A.)
- 一九二一年 コロンビア大学講師、以後近年に至るまで、助教授、准教授、教授(いずれも銀行論担当)を歴任
- 一九二五年 コロンビア大学にて博士 (Ph.D.)

一九三九—一九四九年 チェース・マンハッタン銀行 (現在チェース・マンハッタン銀行) 経済調査部長

一九五六年 教授の功績を記念して、日本の銀行研究に関するベックハルト基金設けらる

一九五七年 メルボルン及びシドニー大学客員教授

著書: The Discount Policy of the Federal Reserve System, 1924.

(共著) Foreign Banking Systems, 1929.

(編著) The New York Money Market, 4 vols, 1931~32.

(編) Banking Systems, 1954 (日本語訳、二巻 一九五六年及び一九五七年、スプリンガー版、一九五八年).

(編著) Business Loans of American Commercial Banks, 1959.

きた高い税率は、トルーマン大統領の強い反対にもかかわらず一九四七年に引下げられてしまった。というのは、政治的な圧力や、またインフレの危険を冒してもというほどに強かった、減税に対する一部の公衆の要望に議会は屈したからである。

いわゆる急上昇の時期、すなわち最大かつ急な消費需要の増加期間は一九四九年ごろには終わった。そこでインフレ傾向は一服の状態となったがそれは長続きせず、その後すぐにばつ発した朝鮮動乱による物価の上昇によって再び現われたのである。しかし今次の場合、税率は一九五〇年に大幅に引上げられた。また一九五一年には連邦準備銀行はもはや政府公債の価格支持を行わない旨を財務省に言明し、その後は信用の増加を抑制するための伸縮的な金利政策を実施しようようになった。かくて、緊縮的な財政政策と相まって再開された連邦準備銀行の引締政策とまた朝鮮動乱の終息によって、戦後のインフレの烈しい局面も一九五二年には姿を消すこととなったのである。

戦後の米国内部におけるその他の重要な変化のいくつかはつぎの通りである。

(一) 一九四五年に三、五五〇億ドルであった実質国民総生産（一九五八年価格ではかった）は一九六六年には約六、五〇〇億ドルに増加した。この間の成長率はアメリカ経済としては低くはないが、日本や西欧のいくつかの国の成長率には及ぶものではなかった。

(二) 合衆国の人口は同期間中、一億三、八〇〇万人から約二億人に増加した。人口のかかる爆発的な増加は米国人の生活のすべての面に影響を与え、非常に深刻な問題を提起しつつある。

(三) 人口の増加にもかかわらず一人当りの可処分所

得は増加を記録し続けてきた。しかしこの増加はすべての人達に公平に生じたのではなく、黒人や不況地域に住む人達を含む数多くのグループは、豊かさの増加の分前にあづかっっていない。

(四) 消費支出は、全般的にいうと米国内部の支えの網であった。それは終戦直後に増加してデフレを生ぜしめなかっただけでなく、その後も絶えず増加し続けてきた。かかる支出の増加は非耐久財やサービスに関して特に目ざましく、これが米国内部を常に刺激する上に重要な役割を課してきた。

(五) 建設への支出も急角度に増加した。しかしこの増加は建設コストの急騰をも導くこととなった。一九二〇年代にも建設ブームは生じたことがあるが、その時にかかるコストは騰貴せずに安定的であった点、今回の場合と対照的といえよう。

(六) 民間企業の設備投資もまた著しく増加した。巨額の投資支出は旧来の製品に対する需要の増加、新製品の商品化、技術革新及び労働力不足に対処すべくなされたものである。

(七) 州政府や市町村の支出増加は主として学校や道路の建設のためであった。

さて、戦後の期間中に雇用者数は四、〇〇〇万人から六、〇〇〇万人に増加したが、増加の特に著しかったのは建設業、卸売業、金融及びサービス業と連邦ならびに州政府その他の地方団体の各部門においてであった。他方、製造業における雇用者数はほんの僅か増加しただけで逆に農業部門においては実に五〇パーセントに上る減少を記録した。しかしながら全体としていけば失業者数は低い水準を維持してきた。

労働時間数は超過勤務を加えて週当たり約四一時間

で、それは全く変化していないといつてよかる。ついで、一九五〇年から一九六五年の間における労働者一人当りの産出高指数については、農業を除く全産業部門では八五から一二二に、農業部門においては六五から一四四に上昇した。

ところで、豊かにみえる米国内部も次のような種々の困難な問題をかかえている。

(一) 激しい戦後インフレは終息したとはいえず、依然インフレーションの脅威はなくなっていない。消費者物価指数は除々にではあるが絶間のない上昇を示し続けている。かかる現象は連邦準備銀行がこれまで実際にこなしてきたよりも一層きびしい引締政策をとるべきであったことを正当化するものであろう。

(二) もう一つの問題、そしていわゆるクリッピング・インフレーションの原因の一つとなっているものは政府支出の恒常的な増加である。一九四八会計年度において三七〇億ドルであった政府支出は、一九六八年には一、八五〇億ドルに上るものと予想されている。支出のかかる著しい増加は、国防、宇宙研究、農産物価格支持計画、社会福祉、帰還軍人への諸給付及び公債利子に対する支出によってひき起されたものである。経済成長に役立てられる政府支出は全体の極く小部分にすぎない。

(三) インフレ的傾向に密接に関連するもう一つの問題は、消費者債務、抵当債務及び州政府や市町村の債務の急速かつ継続的な増加である。また債務の量が増大するにつれてその質は低下してきていることも指摘しておかねばならないであろう。

(四) 以上にあげたことから結びついているのは毎年における米国内部収支の巨額の赤字である。政府

は国際収支面からの制約に米国経済を進んで従わせようとはしてこなかったし、また海外の軍事援助費支出を無理のない範囲内に押しとどめることもしていない。おそらく本年度（一九六七年度）の国際収支の赤字は、ベトナム戦争のためにさらに大幅に増加する見込みである。多額の長期資産はもっているが、すでに膨大な額に達している短期債務を支払うのに必要な流動資産が不足しているという、危険な一銀行の状態にいま米国はあるといつてよからう。ドルの将来はいまや疑問視されているのであって、米国の国際収支問題はなおさらのこと解決されねばならない。

米国経済は現在多くの問題に直面しており、また政府も明らかに数々の失策を重ねてきてはいるが、しかしこの戦後の期間において米国経済が激しい景気後退を経験しなかったという事実にはわれわれは満足を感じてよいであろう。それが起らなかったのは、ニュー・デール時代の産物たる社会福祉制度や所得税への重点的な依存などを中味とする、いわゆる景気自動安定装置の働きに一部分よつてゐる。例えば所得税への依存は、不況期においては租税収入を減少せしめて支出の財源を借入に依存すること余儀なくさせ、他方ブーム期においては望むならばさきの債務の返済を可能ならしめることを通じて、景気の安定化に役立つのである。

満足を感じてよいもう一つの事実は、あるグループの人々に対する公民権の拡大やよりよき教育機会の実現に向つての動きが従来よりも高まったことである。もつともこれらの改善のスピードは望まれているほどの早さのものではなかったが、しかし少なくとも、か

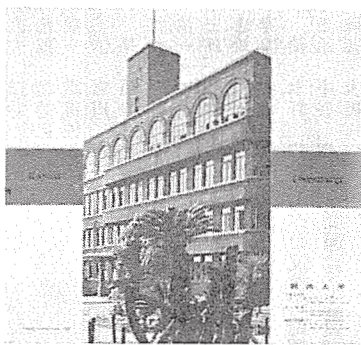
かる人々へのこれまでの不公平な扱いを正す上での進歩が実際に現われつつあるのである。
現在米国が直面している最も重要な問題はベトナム戦争の平和的解決であり、この戦争の終結は米国ばかりでなく諸外国にとつても、それらに差し迫っている多くの問題を解決する上に必要な一前提であろう。

(以上)

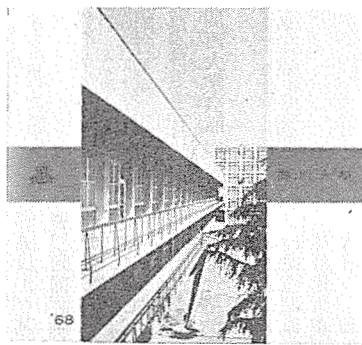
新版「インフォメーション」刊行

本年度刊行された昭和四十三年度版大
学インフォメーションは、企画室、学務課、就職課および出版部が編集会議を開いて作成を企画し、縦二四・五センチ、横二五・五センチの概ね正方形に近い極めて安定感のある判型で、これは、昨年度のB5判横長型より大胆にも縦を約一・三倍大きくし、写真による表現をより効果的にするため内容記述は簡潔、写真を豊富に盛り込んだグラフィックの総アートの一六頁である。

表紙には、その中央部に「法・文・学舎」の横斜写真を配し、さらに、両端の白の部分にはそれぞれ幅四センチの金色の帯を施し、その左の部分に「校章」、右に「關西大學」とスクール・カラーの紫紺色で刷込み、また、それぞれの帯の下に〇・一四ミリの金色の線を引いて、全体を引締め、学舎写真の流れるような斜線と渋い落ちついた「金色の帯」および

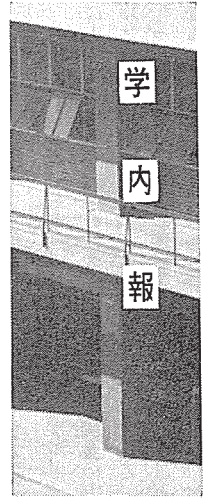


(裏表紙)



(表紙)

「白の部分」が見事に相調和している。
なお裏表紙のデザインも表紙同様で中央部の写真に偉容を誇る天六学舎本館時計台が使用されている。各頁の写真も本学を象徴するに足るものを選び、極めて画期的なインフォメーションとなつている。
(出版部)



理事会

法人ならびに設置諸学校の行財政につき、審議のため、次の通り開催された。

昭和四十二年	十月十三日	(金)	定例
	二十八日	(土)	定例
	十一月十七日	(金)	定例
	二十九日	(水)	臨時
	十二月十五日	(金)	定例
昭和四十三年	一月十九日	(金)	定例
	二月九日	(金)	定例
	二十三日	(金)	臨時
	三月八日	(金)	定例
	三十日	(土)	定例

なお、審議された重要な案件は、
 商学部長・教学部長・学生部長・就職部長・図書館長等更迭、土地売買契約締結、昭和四十二年度学校法人関西大学収支補正予算(第二次)一部修正、給与改定、昭和四十二年度経営費借入、昭和四十三年度学校法人関西大学収支予算編成等である。

評議員会

(十月定例)

学校法人関西大学寄附行為第二十三条第三項による定例評議員会は、十月二十八日(土)午後三時より関西大学会館四階大集会室で開催。

評議員七十七名中四四名出席して適法に成立した評議員会では、

- (第一議案) 昭和四十二年度学校法人関西大学収支補正予算(第二次)に関する件
- (第二議案) 借入金に関する件
- (第三議案) 財産処分に関する件
- (第四議案) 体育実技場解体処分に関する件
- (第五議案) 体育会館解体処分に関する件
- (第六議案) 尚志館一部解体処分に関する件
- (第七議案) 校地の一部譲渡に関する件
- (第八議案) 評議員会議長の更迭に関する件

等の議案のうち、第一議案乃至第三議案につき、理事者の説明、村上総務副委員長よりの事前審査報告、審議の後、議長の諮議に対し、これを可決した。続いて、第四議案に移り、榎本議長より校友会長就任に伴ない評議員会議長職辞任の表明があり、後任議長選考委員会の推荐により、吉田(恵)評議員を議長に選任した。

出席者(敬称略、五十音順)

- | | | |
|-------|----------------------|-------|
| 阿部 甚吉 | 泉 正雄 | 今井 康兼 |
| 植田 重正 | 上道 直夫 | 白井 二尚 |
| 内田 兼俊 | 梅原貞治郎 | 越智比古市 |
| 大島治郎一 | 太田 雞一 | 織田佐代治 |
| 榎本 信雄 | 亀井 清 | 寒川 喜一 |
| 菊久池 博 | 北川 昂 | 黒岩 博 |
| 小寺 寛 | 田中 行雄 | 鉄井 良男 |
| 戸根 泰雄 | 中石 清一 | 中沢 俊雄 |
| 浪江 源治 | 西村治三郎 | 西本 寛一 |
| 畑下 辰典 | 久井 忠雄 | 松原 司朗 |
| 前川信之助 | 前田 春興 | 広原 藤由 |
| 松村 睦鴻 | 三木 治 | 水野 三郎 |
| 村上 精三 | 森 正治 | 中谷 敬寿 |
| 矢野 文雄 | 山崎 敬義 | 吉田 一郎 |
| 吉田鹿之助 | 吉富 二郎 | |
| 藤田友次郎 | (寄附行為第七条第一項第三号による理事) | |

(三月定例)

学校法人関西大学寄附行為第二十三条第三項による定例評議員会は、三月三十日(土)午後三時より関西大学会館四階大集会室で開催。
 評議員七十七名中五七名出席して適法に成立した評議員会では、

- (第一議案) 昭和四十二年度学校法人関西大学収支補正予算(第三次)に関する件
- (第二議案) 昭和四十二年度借入金に関する件
- (第三議案) 昭和四十三年度学校法人関西大学収支予算に関する件
- (第四議案) 昭和四十三年度借入金に関する件
- (第五議案) 予算外義務負担に関する件

(第六議案) 財産処分に関する件

- (1) 校地の一部譲渡に関する件
- (2) 第五学舎大教室棟一部解体に関する件

等の議案につき、理事者の説明、村上総務副委員長、中沢人事副委員長、森財政委員長、池垣学事副委員長、大島給与厚生委員長よりそれぞれ事前審査報告後、審議に移り、寒川評議員より教学方針の具体的内容および学部教授会意見の予算への反映、越智評議員より授業料値上げ問題、学生補導関係費および大学の自治、吉田(一)評議員より学生運動対策、寺西評議員より試験検定料および学生寮運営費、阿部評議員より用地買収等につきそれぞれ質疑または意見があつて、議長の諮議に対し、これを可決した。

出席者(敬称略、五十音順)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 阿部 甚吉 | 秋山 剛 | 池垣定太郎 |
| 泉 正雄 | 市川 重幸 | 今井 康兼 |
| 岩佐清三郎 | 植田 重正 | 上道 直夫 |
| 白井 二尚 | 内田 兼俊 | 梅原貞治郎 |
| 越智比古市 | 大島治郎一 | 大島 武夫 |
| 大月 伸 | 太田 雞一 | 岡野 衛士 |
| 織田佐代治 | 榎本 信雄 | 亀井 清 |
| 寒川 喜一 | 北川 昂 | 黒岩 博 |
| 小寺 寛 | 小林 巖 | 佐伯 五郎 |
| 函師 親徳 | 田中 行雄 | 鉄井 良男 |
| 寺西 武 | 中石 清一 | 中沢 俊雄 |
| 中谷 敬寿 | 永井 嘉吉 | 浪江 源治 |
| 西村治三郎 | 西本 寛一 | 羽賀 一郎 |
| 羽野 堅二 | 林 信夫 | 久井 忠雄 |
| 広田 司朗 | 前田 春興 | 松原 藤由 |

松村 睦鴻 三木 治 水野 三郎
向井 裕亮 村上 精三 森 正治
矢野 文雄 保井 剛一 山崎 敬義
吉田 一郎 吉田鹿之助 吉富 二郎
藤田友次郎(寄附行為第七条第一項第三号による理事)

評議員会各種委員会

(十月定例評議員会上程議案事前審査)

十月定例評議員会上程議案につき、総務委員会、財政委員会、および、人事・学事・給与厚生連合委員会において事前審査が行なわれた。

総務委員会(委員長 榎本 信雄)

十月十二日(木) 関西大学会館第一会議室で開催。国庫補助、天六学舎存置、担保物件評価、災害復旧費、校地売却等の問題につき質疑または意見があった。

財政委員会(委員長 森 正治)

十月十三日(金) 関西大学会館第一会議室で開催。学費増収、借入金、担保物件評価、天六学舎存置、学債、土地購入費、廃棄物件、校地売却等につき質疑または意見があった。

人事・学事・給与厚生連合委員会

(当日の議長前川学事委員長)

十月十三日(金) 関西大学会館第一会議室で開催。学費増収と学生定員、および校地売却等につき質疑または意見があった。

(三月定例評議員会上程議案事前審査)

三月定例評議員会上程議案につき、総

務委員会、財政委員会、人事委員会、学事委員会、給与厚生委員会において事前審査が行なわれた。

総務委員会(委員長 吉田鹿之助)

三月十四日(木) 関西大学会館第一会議室で開催。担保物件評価、役員報酬、常務理事の選任、教授会意見の尊重等につき質疑または意見があった。

財政委員会(委員長 森 正治)

三月十五日(金) 関西大学会館第一会議室で開催。予算編成手続、学債と借入金との関係、土地買収、役員報酬、授業料値上げ問題等につき質疑または意見があった。

人事委員会(委員長 小林 巖)

三月十六日(土) 関西大学会館第一会議室で開催。借入金の返済、入学志願者数、専任教育職員の他大学への出講等につき質疑または意見があった。

学事委員会(委員長 前川信之助)

三月十六日(土) 関西大学会館第一会議室で開催。入学許可者数、担保物件評価、学生運動の対策等につき質疑または意見があった。

給与厚生委員会(委員長 大島 武夫)

三月十八日(月) 関西大学会館第一会議室で開催。事務職員俸給アップ率、四十三年度予想ベース・アップ経費、赤字増加の理由、教育職員給与の他大学との比較等につき質疑または意見があった。

教務部長・学生部長・就職部長

図書館長更迭

新学長の就任に伴ない、教務部長、学生部長、就職部長、図書館長の更迭があり、十一月一日付をもって、新しく、杉原四郎教務部長、桜田蒼学生部長、小川雅弥就職部長、広瀬捨三図書館長がそれぞれ就任した。

(杉原教務部長略歴)

昭和十六年京都大学 経済学部卒、京都大学助手、本学助教、教授、経済学博士、教務部長代理、経済学部部長歴任

(桜田学生部長略歴)

昭和十八年本学法文学部法律学科卒、本学講師、助教、教授、法学部長、学生部長歴任

(小川就職部長略歴)

昭和十六年大阪帝国大学工学部応用化学科卒、大阪大学助手、講師、本学教授、工学博士、就職主事、大学院工学研究科長歴任

(広瀬図書館長略歴)

昭和十一年本学法文学部文学科卒、本学講師、教授、教授、文学部長、教養部長歴任

評議員会議長更迭

十月二十八日(土) 午後三時より開催の定例評議員会(於関西大学会館四階大集会室)において、榎本信雄評議員会議長の議長職辞任に伴ない、その後任として、吉田鹿之助評議員が評議員会議長に就任した。

(吉田鹿之助評議員会議長略歴)

大正十三年本学専門部法律学科卒、大蔵省(主税局勤務)、下京・上京税務署長、国税庁派遣大阪監督官室長、大阪国税局徴収部長、同調査室室長、熊本国税局長、本学評議員、東洋理髪所常務取締役、同専務取締役、長瀬産業(株)顧問、大阪合同税理士会常任顧問、京都地方裁判所調停委員

卒業式

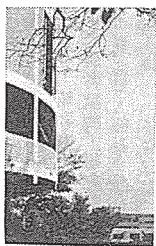
関西大学学部昭和四十二年卒業式は、三月二十五日(月)、一部・二部共法学部 文学部が午前十時より、経済学部、商学部、工学部(二部のみ)が午後一時より、それぞれ千里山学舎体育館で、学歌斉唱、証書授与、学長式辞、理事長挨拶、校友会長および教育後援会長祝辞、卒業生答辞等の式次第で、厳肅に挙行された。

昭和四十二年度学部卒業生数は次の通りである。

法学部	一部 六四七	二部 二六五
文学部	四三〇	九一
経済学部	五七六	一七〇
商学部	四六九	一一三
工学部	五四六	

なお、学校法人関西大学の設置する諸学校の卒業式も次の通り行なわれた。

三月二十六日	午前十時	大学院
三月十一日	午前十時	第一高等学校
三月十二日	午前十時	第一中学校
三月十八日	午前十時三十分	幼稚園



関西大学主要行事日誌

- 十月一日 法学部教授中谷敬寿学長に任命・学長中谷敬寿理事に選任・教育職員役職の異動(学長の更迭、経済政治研究所長更迭、大学院委員会委員更迭、学部学生相談主事の任命)教授野々村五四男(工)・建築住宅事情調査研究のため北南米に出発・体育祭(高・中)・インフオメーション刊行
- 二日 関西地区私立大学(八校)進学説明会(富山・金沢・十月三日まで)・昭和四十二年前期試験開始(一社、十月五日まで)・第十七回秋季運動会(幼)
- 三日 昭和四十二年前期試験開始(一、二部、法、文、経、商、十月十四日まで)・十月十二日まで、関西中部地区私立大学進学説明会(熊本、鹿児島、宮崎、大分、十月六日まで)・学生課事務連絡会
- 四日 信託金状況通知(団体信託開大会)・経ゼミナール協議会と学部長の懇談会(一部)・主任会(工)・昭和四十二年前期試験開始(工、十月十四日まで)・研究所例会(東西研)・第三部共同研究会合(経・政研)
- 五日 昭和四十二年度理工施設費私立学校振興会借入申込・全国大学保健管理協会研修会(於九州大学)・新学長、学生部長及び課長懇談会・敬老の日参観日(幼)
- 六日 第二回長期総合計画委員会・英書担任者会議(二部)部課長会議(学生部)
- 七日 凱風館火災保険の契約締結・学部充実委員会幹事会(二部)
- 八日 文化祭(高・中)
- 九日 専任講師新谷浩雄(文)・ゲーテ・インステイチユウト主催視聴覚教育講習を終え帰国・大学協議会・学部長会議・事務打合せ会(厚生課)・第二月曜懇談会(於大阪産業大)・胸部精密検診(高商)・教授会(法、経、商)
- 十日 英書担任者会議(二部)・主任会(工)・体育常任委員会・体育部長会議・幹事会(東西研)・主任会議(高・中)・昭和四十三年度入願書受付開始(十月十三日まで)
- 十一日 工学部増築落成式・総務委員会・総合グラウンド用地登記完了・主任会(工)・長期計画委員会(一七)・部長、中執会議(学生部)
- 十二日 理事会・財政委員会・給与厚生学事、人事連合委員会・岩崎邸登記完了届提出(文部省)・学生会委員長と学内諸問題の打合せ会(一部学生課)
- 十三日 工学部実験場建設用地造成工事着工・校地売却(買主・京阪産業KIC)・日本道路公団払受け土地登記完了・関西中部地区私立大学進学説明会(姫路)・第二部学生会学部の天六学舎存置決定とその諸問題の打合せ会(学生部)・商学部長安田信一教授願により部長職を解く
- 十四日 工学部実験場建設用地造成工事着工・校地売却(買主・京阪産業KIC)・日本道路公団払受け土地登記完了・関西中部地区私立大学進学説明会(姫路)・第二部学生会学部の天六学舎存置決定とその諸問題の打合せ会(学生部)・商学部長安田信一教授願により部長職を解く
- 十五日 第二回長期総合計画委員会・英書担任者会議(二部)部課長会議(学生部)
- 十六日 商学部長に広田司朗教授任命・商学部長広田司朗教授寄附行為により評議員に選任・教育職員役職の異動(商学部長、同代理更迭)・後期授業開始・クラス懇談会(二部)・学生相談主事会議・実態調査打合せ会・課長体育会懇談会(学生部)・登校時間帯実態調査(一部学生課、十月十一日まで)
- 十七日 定期健康診断(一部女子、二部、法、文、経、商、男子・オリエンテーション打合せ会(一商)・学生課研修会・課長、中執懇談会(学生部)・昭和四十三年度オリエンテーション原案作成打合せ会(一部学生課)
- 十八日 定期健康診断(一、二部法、文、経、商、社)・学部長会議・学術講演会(法学部主催)・教授会(文、社、工)・法学部教育補導・学部長自治会役員懇談会(二部)・主任会(工)・関大一高進学説明会(工)・工学研究科委員会・主任会議(学生部)・SPS全国研運営委(京大)・利益代表者会議(一部学生課)・工学部進学説明懇談会(高)
- 十九日 管理職会議・定期健康診断(一部未検者診断、一社、二部、法、文、経、商、社)・学部長、女子学生懇談会(二部、経、商)・課長、中執懇談会(学生部)・学生会代表、教育後援会合(一部学生課)・文科系進学説明懇談会(高)・秋季遠足(幼)
- 二十日 幼稚園々舎減少増加各届提出
- 二十一日 定期健康診断(二部、法、文、経、商)・学籍関係者打合せ会(一商)・昭和四十三年度学内進学者選考試験・研究科委員会(法、文、経、商)・部長、学生会懇談会(学生部)・体育部長、体育会員懇談会・大阪アルバイト対策協議会(近大金館)・第二十回産業ゼミナール(経・政研)
- 二十二日 国庫助成関西連絡協議会第九回幹事校会・凱風館備品購入・教養委員会・山の家運営委員会・奨学生面接(二部)・新学長学生会懇談会(一部)
- 二十三日 課内研修会(一部学生課)
- 二十四日 日本道路公団野間シズ栄買収登記完了届提出・大学院委員会・実態調査打合せ会(学生部)・学園祭打合せ会・登校時間帯実態調査(一部学生課、十月二十八日まで)
- 二十五日 凱風館落成式・助教授矢野章成(一七)アレキサンダー・フンボルト財団奨学生として渡独・京阪神急行電鉄との交換取得による校地増減届提出(文部省)・胸部精密検査検診(一部)・クラス編成打合せ会(一商)・主任会(工)・昭和四十三年度一般教育科目授業打合せ会(社)・KSCA例会(阪大)・研修会(一部学生課)・中間試験(高・中、十月二十七日まで)・学長更迭変更届発送・慶応大より施設見学のため来学・視聴覚特別教室デモンストレーション・教授会(法、社)・経済学外担任者会議(二部)・文部省主催全

国機械工学系担当教官研究集会
・クラス懇談会(社)・学術講演
会(社)・学長対学友会インタビ
ュー(新聞会・放送研)・研究員会
(東西研)

二十六日

教授野々村五四男在外調査研究
を終え帰国・胸部精密検査(一
部)・教職課程委員会・昭和四
十三年度入試について学部打合
せ会(経)・幹事会(経・政研)

二十七日

胸部精密検査(一部)・視聴覚特
別教室デモンストラーション・
クラス編成打合せ会(商)・昭和
四十三年度一般教育科目授業打
合せ会(社)・実態調査打合せ会
(学生部)・第四回英文タイプ講
習(就職部、十月三十一日まで)

二十八日

理事会・定例評議員会・関西四
大学学医連絡会・関西四大学教
職課程連絡協議会(立命大)・日
本考古学協会昭和四十二年
大会(十月二十九日まで)・講演会
(司法研究会主催)・司法試験合格
者祝賀会・自治会との懇談会(商)
・土曜懇談会・昭和四十三年
度園児入園テスト

二十九日

近畿地区(和歌山)父兄懇談会
(商)・末永先生古稀記念祝賀会
・末永先生古稀記念古代学論叢
刊行

三十日

胸部精密検査(一部、十月三十一日
まで)・教養委員会(外国語委員会)
・教授会(工)・工学研究科委
員会・学生部長新旧事務引継
入園テスト委員会(十月三十一日ま
で)

三十一日

学生食堂竣工(法文地区)・入試
打合せ会(商)・入試業務打合せ
会(社)・部課長会議(二部学生部)
・就職主事会・昭和四十三年
度就職模擬試験出題委員会・研究
所委員会(経・政研)

十一月二日

教育職員役職の異動(学務部長、
学生部長、就職部長、図書部長更
更選、学生主任更選)・定期健康診
断(天六学舎教職員、十一月二日
まで)・学部長会議・法学部学
体制委員会・教授会(経・商)・長期
計画委員会・製図室委員会・文
学研究科委員会・私大連学生補
導委員会・学長と新報社イン
タビュー(二部)・学生部長と学
友会執行部との会合(二部)・
奨学生採用二次本面接(二部、十
一月二日まで)・研究所主任会(工
業技術研)

二日

学生相談主事運営委員会・事務
連絡会(二部)・学長、中執
会談・学生相談事務打合せ会・
創立記念日(中)

四日

創立記念日(大学)
学部長と自治会会談(社)・教授
会(社)・奨励会ハイキング

五日

定期健康診断(千里山学舎教職員、
十一月十一日まで)・インフルエン
ザ予防接種(全学、十一月十一日
まで)・部課長会議(学生部)・三課事
務連絡会(学生部)・映画制作打
合せ会(学生部)

六日

教授津田昌利(工)在外調査研

七日

究を終え帰国・校地一部減少届
提出(文部省)・第五回経商合同
学内ゼミナール大会(講演会)寮
会・映画制作について学友会写
真部と打合せ(二部)・話し合い
会(効)十一月八日まで)

八日

法学部教学体制委員会・第五回
経商合同学内ゼミナール大会
(部門別討議会)・助手採用試験
(経、十一月九日まで)・教育後援会
役員と二部問題についての会合
(二部学生課)・幹事会(東西研)・
主任会議(高・中)

九日

昭和四十三年度募金、募債につ
いて打合せ会・部長、体育会懇
談会(学生部)・生協貸与施設に
ついて打合せ会(学生部)・学園
祭について実行委員会と打合せ
会(二部)・インフルエンザ予防
接種(効)

十日

語学時間割打合せ会・大学院選
考委員会・昭和四十三年度「学
生生活」編集会議・学園祭につ
いて実行委員会と打合せ会(二
部)・参観日(効)

十一日

四大学懇談会・国庫助成関西連
絡協議会第十回幹事校会・学園
祭(二部、十一月十四日まで)

十三日

事務連絡会議(経理)・インフル
エンザ予防接種(全学十一月十八日
まで)・事務打合せ会(法文)・教
職免許申請打合せ会・昭和四十
三年度「学生生活」編集会議・
第二回曜懇談会(学生部)・職員
会議(高・中)

十四日

大学事務担当者会議(学費控込に

いて)・胸部精密検査(一部)・理
事長、中執会談・三課事務連絡
会議(学生部)模擬、実力テスト
(高・中)

十五日

学部長会議・教授会(法、経、工)
・学生相談室運営委員会・法学
部教学体制委員会・学生相談主
事会議・主任会(工)・学舎建設
打合せ会(社)・学生主任会議・
大阪府育英委員会・研究員会
(東西研)・研究所主任会(工業技
術研)・母の会臨時總會及び懇談
会(効)

十六日

事務連絡会(法、文)・講演会(寮)
・SPS全国研実行委員会・関
東、関西学生問題研究会(十一月
十八日まで)・研究報告会(経・政
研)・生徒会役員選挙(高・中)
・インフルエンザ予防接種(効)
・誕生日会(効)

十七日

理事会・千里ニュータウン政治
社会意識調査特別研究班会(経
・政研)

十八日

講演会(寮)

十九日

神戸地区父兄懇談会(経、商)

二十日

学生部長代理更迭・胸部精密検査
(一、二部、十一月二十二日まで)・
臨時主任会(工)・第四回図書
委員会・時間帯実態調査(二部学
生課、十一月二十五日まで)

二十一日

色神異常者精密検査(十一月十
八日まで)・入試業務打合せ会・
三火会・課長、中執懇談会(学生
部)

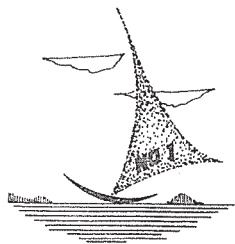
二十二日

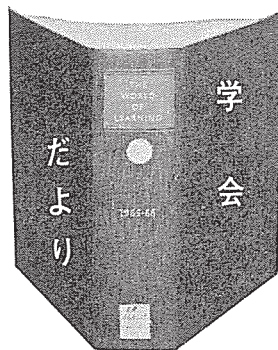
大学事務打合せ会・法学部教学

- 体制委員会・教授会(経・商社)・部長、代理懇談会(学生部)・関西学生会館懇談会幹事校会
 十二月一日 高教務主任の更迭・色神検査(二部)・山の家族利用者受付開始
 十二月二日 全関西私立大学図書館補助促進同盟第三十六回幹事校会・経理研究会・文学部教育学科発足・文学部教育学会発会記念行事・学生部長、中執会談
 十二月三日 昭和三十二年私立大学理科等教育設備費補助金交付申請書提出・第三回長期総合計画委員会・参観日(幼)
- 二十五日 昭和三十二年私立大学理科等教育設備費補助金交付申請書提出・第三回長期総合計画委員会・参観日(幼)
- 二十六日 教育補導行事バスツアー(二文)・部課長会議(学生部)
- 二十七日 全学舎火災保険契約更改・胃検診(金職員、十一月三十日まで)・SPS近畿地区部課長研修会(理工大)・就職主事会・出版委員会・学務打合せ会(各学会、経理課)・学務要覧打合せ会・各種研究会に関する打合せ会
- 二十八日 第九回学長会議(私大連、十一月三十日まで)・教授会(法、文)・法学部教学体制委員会・教育補導行事・主任会(工)・文学研究科委員会・工業研究科委員会・昭和四十三年度「学生生活」編集打合せ会・生協貸与施設打合せ会(学生部)・厚生補導協議会(文部省主催、十二月六日まで)・予算打合せ会(学生部)・幹事会(東西研)・主任会議(高・中)
- 二十九日 清掃業務打合せ会・第二十五回外国語学力認定試験・三課会
- 三十日
- 奨学金返還説明会
- 十日 寮防火訓練・特別模擬試験(高三)
- 十一日 予算打合せ会議(財務局)・定期健康診断(生協従業員、十二月十二日まで)・色神検査(二部)・弁理士研究会懇談会・文学部学務、人事合同委員会・ガイダンス打合せ会・学務要覧打合せ会・助手採用試験(社、十二月十二日まで)・第二回月曜懇談会・私大連学生厚生補導研修会準備委員会
- 十二日 予算打合せ会議(財務局)・定期健康診断(生協従業員、十二月十二日まで)・色神検査(二部)・弁理士研究会懇談会・文学部学務、人事合同委員会・ガイダンス打合せ会・学務要覧打合せ会・助手採用試験(社、十二月十二日まで)・第二回月曜懇談会・私大連学生厚生補導研修会準備委員会
- 十三日 教授会(法、文、社、工)・法学部教学体制委員会・助教専任講師懇談会(経)・主任会(工)・クラス懇談会(社)・学長中執会談・寮食事問題委員会・寮定期懇談会・研究報告会(経・政研)・主任会(工)・期末試験(高・中、二年、十二月十六日まで)
- 十四日 講演会(寮)・関西学生会館懇談会(同大)
- 十五日 理事会・役員、正副委員長懇談会・教養委員会・学年末試験線上海施「人文地理」(二部、法、文、社)・体育常任委員会・体育部長会・学務打合せ会(学生部)・経理研究会・同友会キャンプ(十二月十七日まで)
- 十六日 入試実行委員会・学生部課長会議・学生主任会議
- 十七日 管理職懇親会・三火会・三者協議会・大阪地区六私立大学懇談会・学生部長、学友会合(二部)・期末試験(高三、十二月二十二日まで)
- 十八日 学部長会議、教職課程委員会
- 十九日 学部長、学友会委員新年の
- 二十日 学部長、学友会委員新年の
- 二十一日 教授会(法、社、工)・授業終了(学部)・文学研究科委員会・研究所例会(東西研)・千里ニュータウン調査特別班会合(経・政研)・第三学期修了日(幼)
- 二十二日 主任懇親会・教授会(経・商)・教授懇談会(経)・全国学生相談研修会(同大、十二月二十三日まで)・国庫助成関西連絡協議会第十一回幹事校会・事務連絡会(学生課)・山寮対策協議会(黒髪)・就職主事会・学内就職問題懇談会
- 二十三日 経理研究会・終業式(高・中)
- 二十四日 創立八十周年記念事務職員寄附世話人会・学部長、自治会会談(社)・生協取扱い学内打合せ会
- 二十五日 甲子株式会社より買収地登記完了報告(文部省へ提出)
- 二十六日 関西四私大厚生補導研修会運営委員会(於関西)・学友会役員、理事長懇談会(二部)
- 二十七日 御用納め
- 二十八日 建築請負会社飯場火災による現場検証
- 二十九日 防火管理者、千里山自衛消防隊長、同副隊長の更迭
- 三十日 専任講師石川啓(社) 在外調査研究を終え帰国
- 三十一日 新年交礼会
- 十二月一日 色神精密検査(二部)・後期授業開始・部課長会(学生部)・始業式(高・中)

- 十日 会合(二部)・第三学期始園日
入試願書郵送受付開始・昭和四十三年度予算申請集計開始・色神精密検査(二部)・教授会(法・文・社)・学年末線上試験施行(二部)計費・経済学)・主任会(工)・主任会(工業技術研)・寮生新年懇談会・入試宿舍幹旋受付・オリエンテーション打合せ会(二部)・スキー学校第一回打合せ会(二部)
- 十一日 幼稚園々舎増築工事竣工・色神精密検査(二部)・部課長会議(学生部)・私大連学生厚生補導研修会(於富士吉田市・一月十五日まで)成績査定会議(高)
- 十二日 評議員新年交礼会
補導懇談会・補導会議
入試窓口受付開始・一高特選受付・学生会館部室用机購入・昭和四十三年定期健康診断打合せ会・教養委員会
- 十三日 色神精密検査(二部)・学部長会議・教授会(工)・主任会(工)
- 十四日 研究科長会・大学院委員会・商学研究科委員会・一高体育推薦選考委員会・学生主任会議・事務連絡会議(学生課)・下宿開始・千里ニュータウン調査特別班会合(経・政研)
- 十五日 胸部要医療者精密検査(二部)・助手採用試験(文)・一月十九日まで)・臨時主任会(工)・府研テスト(中三)
- 十六日 理事会・色神精密検査(二部)・胸部要医療者精密検査(二部)・大学保健管理協会近畿地方分会(於神戸大)・体育常任委員会・体育部長会・事務打合せ会(厚生課)・SPS全国研討者会(京大)
- 十七日 幼稚園々舎落成式・四大学懇談会(於同大)・高校理科実験用ウオタークーラー購入・社会学部複色混色器他、アイマークレコーダー購入
一高特別選考入学試験(法・文・経・商・社・工)・主任会(工)
- 十八日 予算折衝(法人部局・高・中・幼)・色神精密検査(二部)・後期授業終了・河村宜介教授(商)退官記念講義・法学研究科委員会・先輩を囲む就職座談会・部課長会議(学生部)・第二月曜懇談会
予算折衝(法人部局)・学年末試験(二部)二月一日まで)・体育推薦選考委員会
- 十九日 学内評議員懇談会・就職用検診(一部)一月二十六日まで)・色神精密検査(二部)・教授会(工)・学生会館委員会(学生部)・スキー学校第二回打合せ会(二部)・主任会議(高・中)実力テスト(高・中)
- 二十日 入試願書郵送締切り・教授会(法・文・経・商・社・工)・主任会(工)・SPS全国研討会(於京大)一月二十六日まで)
- 二十一日 一高特選学費受付開始・新人生父兄対象の寄付・学債依頼状各事務室に交付・色神精密検査(二部)・教授会(経)・教授、助教懇談会(経)・一高特別選考入学許可者発表(法・文・経・商・社・工)
- 二十二日 学部長会議・「イスラム化」第二回合同研究会(二月二十八日まで)
- 二十三日 予算折衝(法人部局・高・中・幼)・色神精密検査(二部)・後期授業終了・河村宜介教授(商)退官記念講義・法学研究科委員会・先輩を囲む就職座談会・部課長会議(学生部)・第二月曜懇談会
予算折衝(法人部局)・学年末試験(二部)二月一日まで)・体育推薦選考委員会
- 二十四日 学内評議員懇談会・就職用検診(一部)一月二十六日まで)・色神精密検査(二部)・教授会(工)・学生会館委員会(学生部)・スキー学校第二回打合せ会(二部)・主任会議(高・中)実力テスト(高・中)
- 二十五日 入試願書郵送締切り・教授会(法・文・経・商・社・工)・主任会(工)・SPS全国研討会(於京大)一月二十六日まで)
- 二十六日 一高特選学費受付開始・新人生父兄対象の寄付・学債依頼状各事務室に交付・色神精密検査(二部)・教授会(経)・教授、助教懇談会(経)・一高特別選考入学許可者発表(法・文・経・商・社・工)
- 二十七日 学部長会議・「イスラム化」第二回合同研究会(二月二十八日まで)
- 二十八日 入試願書郵送受付開始・昭和四十三年度予算申請集計開始・色神精密検査(二部)・教授会(法・文・社)・学年末線上試験施行(二部)計費・経済学)・主任会(工)・主任会(工業技術研)・寮生新年懇談会・入試宿舍幹旋受付・オリエンテーション打合せ会(二部)・スキー学校第一回打合せ会(二部)
- 二十九日 幼稚園々舎落成式・四大学懇談会(於同大)・高校理科実験用ウオタークーラー購入・社会学部複色混色器他、アイマークレコーダー購入
一高特別選考入学試験(法・文・経・商・社・工)・主任会(工)
- 三十日 鉢伏山山の用地買収分登記完了・下宿開拓(二部)一月三十一日まで)・学年末試験(中三)二月一日まで)
- 三十一日 入試窓口受付締切り・一高特選学費締切・主任会(工)・教授会(工)・学年末試験終了(一社)・文学研究科委員会・学年末試験(中三)・入試委員会(高・中)・出版委員会
- 二日 大学予算折衝(二部)二月二日まで)・就職用検診(一部)二月二日まで)・研究科長会(大学院)・昭和四十三年度高等学校入学生験願書受付(二月十三日まで)
- 三日 事務連絡会(学生課)
昭和四十三年度法学部入学試験・精密検査(法)・学生部長、中執懇談会(二月四日まで)
- 四日 昭和四十三年度経済学部入学試験・精密検査(経)
- 五日 昭和四十二年度私立大学理科等教育設備費追加補助額決定・昭和四十三年度文学部入学試験・精密検査(文)・新寮について学生と懇談会・日本育英会奨学生採用者説明会
電子式計算機購入(文・経)・昭和四十三年度商学部入学試験・精密検査(商)幹事会(経・政研)
- 六日 入試願書郵送締切り・教授会(法・文・経・商・社・工)・主任会(工)・SPS全国研討会(於京大)一月二十六日まで)
- 七日 昭和四十三年度社会学部入学試験・精密検査(社)
- 八日 助教授田中充(経)韓国中小企業実態調査のため韓国に出发・私立学校振興会資金借入手続・昭和四十三年度工学部入学試験・精密検査(工)・部課長会(学生部)・成績査定会議(中)
- 九日 理事会・教養委員会・学年末試験再開(二月十七日まで)・日本育英会受領証交付
就職用検診(二部)二月二十七日まで)・学内理事懇談会・教授会(経)・経済学研究科委員会・学生部長、中執懇談会
- 十日 学部長会議
心電図精密検査(一部)二月二十七日まで)・工学研究科委員会・日本育英会補充採用者説明会・昭和四十三年度高等学校入学試験文部省指定統計説明会
四大学懇談会・経理事務研究会・日本育英会友の会総会・入試査定会議(中)
- 十一日 昭和四十三年度高等学校入学試験合格者発表
- 十二日 入試査定教授会(法・経)・二部入試願書受付(二月二十九日まで)
- 十三日 三火会・郵便番号制度説明会・昭和四十三年度寄付・学債受付開始・色神精密検査(一部)二月二十七日まで)・昭和四十三年度法学部、経済学部入学許可者発表・主任会議(学生部)・日本育英会第二募集採用者説明会・新入生下宿幹旋開始(法・経)昭和四十三年度中学校入学生験願書受付

- 二十一日 助教授田中充(経) 韓国中小企業実態調査を終え帰国・私立学校振興会資金追加借入手続(二月二十四日まで)・入試査定教授会(文・商)・文学研究科委員会・商学研究科委員会・学生会執行部と会合(二部)
- 二十日 昭和四十三年度入学許可者学費納入手続/切(法・文・経・商)・文学研究科委員会
- 三日 昭和四十三年度二部入学試験・学生部課長会議
- 四日 昭和四十三年度入学許可者学費納入手続/切(社・工)・オリエンテーション(二部学生課)・スキー学校説明会(二部)・昭和四十三年度中学校入学試験査定会議
- 五日 経済学研究所委員会・第三部研究員千里ニュータウン特別班会合(経・政研)・昭和四十三年度中学校入学試験合格者発表、入学許可者学費納入手続(三月九日まで)
- 六日 教養委員会・教授会(社)・研究科委員会(法・商)・日本育英会受領証交付・幹事会(東西研)・学年末試験(高・中、三月九日まで)
- 七日 工学部二次検定料受付(三月十八日まで)・編入学願書受付(三月十八日まで)・主任会(工)・工学部図書委員会・同好会顧問懇談会(学生部)・第二十一回産業セミナー
- 八日 理事会・学部長会議・工学研究科委員会・打合せ会(学生部)・入寮願書/切
- 九日 二部入試査定、卒業査定教授会
- 十日 昭和四十三年度二部入学許可者発表・入学手続開始(三月十六日まで)
- 十一日 学内評議員懇談会・大学院入学手続開始(三月十八日まで)・卒業
- 十二日 査定教授会(工)・竹中育英会欲送会・昭和四十二年度高等学校卒業式
- 十三日 学内交通規制打合せ会・卒業成績発表・追再試験願書受付(三月十三日まで)・教務事務連絡会・事務連絡会(学生部)・幹事会(東西研)・昭和四十二年度中学校卒業式
- 十四日 総務委員会・追再試験(三月十九日まで)
- 十五日 財政委員会・一般教育等振興対策委員会・研究科長会・大学院委員会・学生補導委員会(私大連)・研究委員会(経・政研)・成績査定会議(高・中)
- 十六日 四大学懇談会・人事委員会・学事委員会
- 十七日 助教授亀井利明(商) 研究発表のため韓国に出発
- 十八日 学内評議員会・給与厚生委員会・入試実行委員会・部課長懇談会(学生部)・研究例会(東西研)・第三部研究員千里ニュータウン特別班会合・卒園式(幼)
- 十九日 社会学部使用心理テスト用具購入・学生部長、中執懇談会・終業式(高・中・幼)
- 二十日 社会学部学舎、研究室および工学部実験場竣工・三年次編入学試験工学部第二次入学試験・主任会議(学生部)・一般教育の指針刊行
- 二十一日 体育部長と懇談会(学生部)・昭和四十三年度大学院入学試験(三月二十日まで)
- 二十二日 総務委員会(二部)・教養委員会
- 二十三日 追再試験査定教授会(工)・五研究科委員会・職員厚生施設用地長野県観光開発公社と売買契約締結
- 二十四日 学部長会議・追再試験成績発表・図書委員会・プール運営協議会・教育会館別館運営管理委員会・出版委員会
- 二十五日 助教授亀井利明(商) 保険学会を終え韓国より帰国
- 二十六日 昭和四十二年度学部卒業式・教授会(社)
- 二十七日 秀麗寮入寮希望者健康診断・三年次編入査定教授会・工学部第二次入試査定教授会・主任会(工)・昭和四十二年度大学院修士記授与式・大学院委員会・KSCA例会・学生寮建設
- 二十八日 による拡張道路売買契約締結
- 二十九日 一般教育等振興対策委員会・三年次編入学合格発表・工学部第二次入学許可者発表
- 三十日 理事会・定例評議員会・体育表技場解体式・追卒業発表
- 二十一日 助教授田中充(経) 韓国中小企業実態調査を終え帰国・私立学校振興会資金追加借入手続(二月二十四日まで)・入試査定教授会(文・商)・文学研究科委員会・商学研究科委員会・学生会執行部と会合(二部)
- 二十日 文学部、商学部入学許可者発表・入試査定教授会(工)・主任会(工)・理事長、中執会談・新入生下宿斡旋開始(文・商)
- 二十三日 学内理事懇談会・理事会・入試査定教授会(社)・園児生活発表会
- 二十四日 消防立入検査・学内評議員懇談会・国庫助成関西連絡協議会第十二回幹事校会、昭和四十三年度社会学部、工学部入学許可者発表・法学研究科委員会・研究科長会・大学院委員会・新入生下宿斡旋開始(社・工)
- 二十五日 卒業論文口述試験(文、二月二十六日まで)・河村宜介教授古稀記念特輯刊行
- 二十六日 図書委員会
- 二十七日 外国語担当者会議
- 二十八日 各課代表者懇談会・弁理士試験合格者祝賀懇談会・主任会(工)・学生会、学生課会談・主任会(工業技術研)・手根骨撮影(幼、二月二十九日まで)
- 二十九日 学内評議員懇談会・学部長会議
- 三月一日 大学院検定料受付(三月十五日まで)・教職課程委員会・昭和四十三年度中学校入学試験・入試委員会(中)





金融学会昭和四十二年秋大会

金融学会昭和四十二年秋大会は、十月十四日(土)、十五日(日)の二日間、本学千里山第三学舎新館において開催され、全国から参加した二百数十名の会員によって、研究報告ならびに討議が活発に展開され、多大の成果をおさめた。研究報告者および論題はつぎの通りである。

第一日(十四日)

自由論題研究報告

第一会場

- 利子・所得のくも果の安定条件のグラフ的考察 大阪府立大学 馬淵 透
 - 国債発行下におけるマネー・フロー 特に企業金融の変化 日本銀行 外山 茂
 - 利率の期間別構造理論について 神戸市外国語大学 明野 隆
 - 消費開数の先験的基礎について 愛知大学 木村 憲二
 - フランスにおける金為替本位制論争 神戸大学 石井隆一郎
- 第二会場
国内均衡と国際均衡
横浜国立大学 吉川 光治

第二日(十五日)

自由論題研究報告

- J・S・ミルの信用貨幣観 九州大学 荒牧 正憲
- ジョセフ・マッシーの利子論について 和歌山大学 三上 隆三
- アメリカの銀行の海外活動について 明治大学 板井 一郎
- イングランド銀行はいつ中央銀行になったか 慶応義塾大学 町田 義一郎

共通論題研究報告

- 金融政策と財政政策の調整
— ポリシー・ミックスの問題点 —
日本銀行 佐藤 昌良
大蔵省 林 大造
住友銀行 西村 功
東京大学 館 隆一郎
- なお本学からは、森川、安田、高本の各教授および尾崎、鶴嶋、上田、神保、貞木、矢野、保坂の各助教授・専任講師が出席した。

日本考古学協会昭和四十二年大会

わが国考古学界における最大の年中行事とされる日本考古学協会の本年度大会は、十月二十八・二十九日の三日間にわたり、関西大学の担当によつて開催された。二十八・二十九両日は、新築の千里山第一学舎二二五教室において研究発表及び公開講演が行なわれ、三十日は大阪駅前よりバスを駆つて奈良県下の考古学遺跡の見学会が催された。なお会期中は、図書館三階の考古学陳列室において、本学所蔵の考古資料の展示が行なわれ、参観者の注目を集めた。三日間を通

じて、全国から参集した研究者の総数はおそらく千名を下らないと思われる盛況であつた。

まず、二十八日は、午後一時より八幡一郎協会委員長の開会の辞、中西敬寿、本学学長の歓迎の辞に引きつづき、左の研究発表が行なわれた。

- 1 大分県岩戸の旧石器時代遺跡…………… 岸次 長介
- 2 押型文土器伴出の石器…………… 鈴木 重治
- 3 山梨県塩山市柳田遺跡の調査…………… 鈴木 重治
- 4 青森県久保坂山野峠遺跡における縄文後期初頭の組合石棺を伴う積石塚について…………… 江坂 輝弥・村越 潔
- 5 安行系粗製土器における文様施すの順位と工程…………… 鈴木 公雄
- 6 福島県南御山遺跡における最近の調査…………… 杉原 莊介
- 7 静岡県非山町山本遺跡第二次発掘調査…………… 八幡 一郎・斎藤 宏
- 8 愛知県豊田市高橋遺跡の調査…………… 久永 春男・斎藤 嘉彦
- 9 大阪府豊中市勝部遺跡の調査…………… 萩田 昭次・藤井 直正
- 10 鳥取県米子市福市遺跡…………… 佐々木 謙
- 11 女王卑弥乎の墓と角塚古墳…………… 小岩 末治
- 12 所謂那馬合国大和説敷衍の検証…………… 上田 宏範
- 13 前方後円墳兆域地割の方形化とその背景…………… 白木 順和
- 14 天理市布留遺跡出土品の整理(1)…………… 近江 昌司
- 15 二十八日午後六時から法文第二会議室において懇親会を開催、学長代理として壺井文学部長が出席され、参加者七十余名の盛会であつた。
- 16 二十九日は午前九時より、前日に引きつづき左の研究発表があつた。
- 14 越中国宮崎浜山の硬玉工房址…………… 大場 登雄・寺村 光晴
- 15 茨城県新治郡玉里村母塚古墳 第二次、第三次発掘調査の報告…………… 初重・小林 三郎
- 16 茨城県那珂郡東海村須和間原所在古墳群の発掘調査…………… 大森 信英・関根 忠邦
- 17 茨城県岩瀬町狐塚古墳調査概要…………… 高根 信和・茂木 雅博
- 18 昭和41年度藤原宮跡の調査…………… 高根 信和・茂木 雅博
- 19 昭和42年度平城宮跡調査概要…………… 伊達 宗泰
- 20 下野国分尼寺跡の発掘について…………… 町田 章
- 21 京都市極楽寺の発掘調査…………… 佐藤 興治・堤 圭三郎
- 22 奈良市大安寺出土の唐三彩…………… 小島 俊次・八賀 晋
- 23 那須郡衛跡一次調査について…………… 大和久盛平・大川 清
- 24 愛知県半田市椎之木古窯址群…………… 三木 文雄
- 25 秋田城外壘跡…………… 杉藤 章・立松 宏
- 26 秋田県南秋田郡昭和町…………… 孝・門間 光夫
- 26 ジンクラトの起源…………… 黒田 和彦
- 27 二十九日午後一時より、同じく第一学舎二二五教室において左の公開講演を行なつた。
- 28 豊瀬沿岸の弥生文化…………… 東京教育大学教授 園分 直一
- 29 古墳の始りと終り…………… 関西大学教授 末永 雅雄
- 30 なお二十九日午後六時より、梅田の新阪急ホテルにおいて末永博士の古稀祝賀…………… (十九頁へ続く)

学会出張

(職名・氏名・学会名・開催場所の順) (五十音順)		年次大会	
法学部	憲法学会 (京大)	有坂 隆道	(広島女学院大)
教授 池田 栄	同	宇田 米夫	史学会 (東大)・蘭学資料研究会
同 石尾 芳久	法制史学会 (名城大)	榎本金次郎	日本観光学会
同 岩田 健次	法制史学会 (名城大)	大島真二	(長崎グランドホテル)
同 上林 良一	日本政治学会 (中大)	大庭 脩	日本英文学会(山口大)
同 高島 義郎	民事訴訟法学会 (京大)	岡見 正雄	科学哲学会(早大)
同 原 英次	日本政治学会 (中大)	岸本 一郎	法制史学会研究会 (名城大)・史学会 (東大)
同 菱田 政宏	政治思想研究会 (立命大)・関西思想研究会 (同大)	木下 正俊	中世文学会 (信州大)
同 堀 堅士	商法研究会 (東大)・証券経済学会・日本私法学会 (神大・大市大)	栗駒 正和	演劇学会 (同大)・近世文学会 (天理大)
同 榎 佛次	日本行政学会 (日本都市センター)	坂本 一郎	万葉学会全国大会 (九大)
同 山口 辰雄	民科法律学会・私法学会・法社会学会 (近大・大市大・関学大)	菅内 照夫	日本シェイクスピア協会全国大会(島根大)
同 森 省三	日本時事英語学会 (九大)・日本商業英語学会 (青山学院大)	角田 文雄	中国語弁論大会 (北九州大)
助教 福永 有利	民事訴訟法学会 (京大)	壺井 義正	史学会 (東大)
同 森 雄己	日本公法学会 (甲南大)	広岡 英雄	中国学会 (北大)
同 山川 郁三	日本政治学会 (中大)	星野 信夫	(福岡県立女子大)
専任 奥村 郁三	法政史学会 (名城大)	増田 渉	中国学会 (北大)
講師 藤本 豊嗣	日本公法学会 (甲南大)	松本 政治	日本英文学会(山口大)
同 森井 暉	日本犯罪学会・刑法学会	丸山 三友	日本英文学会(山口大)
同 森井 暉	同	三上 諳聰	日米文学会全国大会 (青山学院大)・日本英文学会(山口大)
文学部	同	史例会 (名大)	名大独立文研究室の文献調査(名大)
教授 秋山 肇	トマスハーデイ協会	同	文学会(天理図書館)
同	同	同	芝田 稔
同	同	同	中国語学会(北九州大)
同	同	同	日本体力医学会
同	同	同	武智 英裕
同	同	同	日本新聞学会(早大)
同	同	同	第一回ウエイト・ト

関西大学経済学会編

関西大学 経済論集

第十七巻 第五号
『資本論』百年特集
昭和四十二年十二月刊 A5判 一三五頁

内 容	
労働節約法則と『資本論』……………	杉原 四郎
ロビンソンとマルクス……………	三谷 友吉
いわゆる「不明瞭な箇所」……………	東 井 正 美
—マルクスの市場価値論について—	重 田 晃 一
『ドイツ・イデオロギー』の一断面……………	保 坂 直 達
—経済学批判の前提としての「哲学的意識」の批判—	松 岡 保
—マルクスから学ぶもの—	橋 本 昭 一
田中真晴著『ロシア経済思想史の研究』……………	安 喜 博 彦
ゴットフリート・アイザマン著『経済と社会』……………	
セイモア・プロードブリッジ著『日本工業の二重性』……………	

経済学部
 教授 荒井 政治 日本経営史学会 (早大)
 同 鋤方 貞亮 法制史学会(名城大)
 同 市原 亮平 経済理論学会(東北大)
 同 杉原 四郎 経済学史学会(早大)
 同 有田 稔 理論経済学会(中大)
 助教授 戒田 郁夫 日本財政学会(成蹊大)
 同 重田 晃一 経済学史学会全国大会(早大)
 同 玉木 興乗 理論経済学会(中大)
 同 鶴嶋 雪嶺 経済理論学会(東北大)
 同 原田 聖二 国際経済学会全国大会(国学院大)
 同 松岡 保 経済学史学会全国大会(早大)
 同 山本 繁紳 国際経済学会全国大会(国学院大)
 同 保坂 直達 理論経済学会(早大)
 同 岩井 浩 経済理論学会(東北大)
 同 小田 正雄 国際経済学会(国学院大)
 同 橋本 昭一 経済学史学会(早大)
商学部
 教授 清水 宗一 日本経営学会(中大)
 同 柴田 銀次郎 日本港湾経済学会(關東学院大)
 同 広田 司朗 日本財政学会(成蹊大)
 同 宮下 孝吉 法制史学会第十六回大会(名城大)
 同 山口 吉兵衛 評議員会、総会及び学会(中大)
 同 山崎 紀男 日本経営学会(中大)
 同 飯野 春樹 日本経営学会(中大)
 同 来住 哲二 日本商業英語学会(青山学院大)
 同 木村 滋 国際経済学会(国学院大)
 同 木田 和雄 国際経済学会(国学院大)
 同 酒井 文雄 日本経営学会(中大)
 同 末政 芳信 日本會計研究学会(同大)
 同 高柳 竜芳 日本経営学会(中大)
 同 長砂 実 国際経済学会(国学院大)・経済理論学会(一橋大)・社会主義経済学会(東北大)
 同 中辻 卯一 日本経営学会(中大)
 同 保田 芳昭 日本経営学会(中大)
 同 稲村 毅 日本経営学会(中大)
 同 三上 宏美 日本財政学会(成蹊大)・交通学会(中大)

社会学部
 教授 白井 二尚 日本社会学会(名大)
 同 加藤三之雄 日本新聞学会(早大)

工学部
 教授 青木 一郎 日本物理学会(広島大)
 同 大藤 能親 熔融塩化学討論会(横浜大)
 同 片山 佐一 日本物理学会分科会(広島大)
 同 北野 広雄 近畿中部歯車懇談会合同研究会(大阪教工)

専任講師 奥田 幸助 日本経営学会全国大会(中大)
 同 下間 頼一 国公立大学機械工学関係教官研究集会(日大)・日本機械学会(岐阜商工会議所)・機械学会九州総会(福岡大)
 同 倉田 忠雄 日本機械学会(日大)
 同 佐久間七郎 左衛門 東京土木学会臨時大会(日本建設機械化協会)・学術研究会(広島大)

関西大学社会学会編
社会学論集 第三号
 昭和四十二年十月刊 A5判 九四頁

内容
 エリート理論の成立……………居安正
 —その思想的意義—
 商品の銘柄選択行動に働く要因の分析……………大石 進一・池田 進
 消費者態度による耐久消費財需要の予測……………佐々木 土師二
 機械工業における基幹的賃率の現況……………嶺 学

同	城 憲三	理学会(愛媛大) 計測自動制御学会 (広島大)・情報処理 学会(機械振興会館)	同	松山 卓蔵	粉体技術委員会(労働 衛生研究所)
同	田中 行雄	精機学会(愛知県中小 企業センター)・日本機 械学会九州総会 (九大・福岡大)	同	宮谷 義六	鉱業関係学協会 (九大)
同	田中 郁雄	高電圧技術研究会 (大手町会館)	同	森田 正信	電気四学会連合大会 (早大)
同	高瀬 孝夫	日本鋳物協会 (愛知県中小企業センター)	同	吉村 孝義	建築学会(名大)・建 築史分科会(日本建築 会館)
同	高元 睦夫	日本物理学会一九六 七年秋の分科会 (愛媛大)	同	吉村 常雄	日本鉄鋼協会第七十 四回講談会(北大)
同	谷村 正義	日本機械学会 (東京電機大)	同	穴迫 之男	日本数学会(広島大)
同	友田 泰行	応用物理学会(金沢大)	同	今井 弘	錯塩化学討論会 (広島大)
同	秋田鴻之助	日本物理学会(広島大)	同	小沼 啓助	日本数学会(広島大)
同	中川 有三	計算機制御講習会 (広島大)・電気四学 会連合大会(早大)	同	大田 義一	電機関係学会東海支 部連合大会(静岡大)
同	中村 正躬	金属学会研究調査 (群馬大・東大)	同	菊地 徹平	電気学会磁気増中器 委員会(電気クラブ)
同	野地 脩左	電気四学会連合大会 (早大)	同	古後 楠徳	日本数学会(広島大)
同	野々村五四男	建築学会(名大)・建 築史分科会 (日本建築会館)	同	末綱 修阿	日本数学会(広島大)
同	前田 春興	日本建築学会、日 本都市計画学会(日本 建築会館)・都市計画 学会(都市計画会館)	同	田中 輝男	オンオフ制御研究会 (九州工大)
同		材料学会応力測定委 員会(東京工大)	同	中村 文俊	日本鋳物協会 (愛知県中小企業センター)
			同	中野 正吉	日本物理学会(広島大)
			同	薬師寺正雄	日本伸銅協会第七回 伸銅技術研究会講演 会(機械振興会館)
			同	吉田 博	電気通信学会宇宙航 行エレクトロニクス 研究会(電気通信学会)
			同	安藤 暹	化学関係協会連合大 会(岡大)

関西大学法学会

関西 法 学 論 集 第十七卷 第四号

昭和四十三年一月刊 A5判 一二〇頁

内 容

- ギリシヤ古典政治学の系譜……………高尾 正男
- 行政法上の人身の自由の侵害(三)……………広岡 隆
- 比較法的研究—
- 根抵当権に関する研究(二)……………榎 梯次
- 根抵当権者の予めの価値支配とその制限を中心として—
- 利益配当優先株と劣後株(三)……………菱田 政宏

同	今西 茂	電気通信技術委員会 (東京工大)	同	岩崎 智	日本機械学会講演会 (金沢大)
同	清水 寛治	計測自動制御学会 (広島大)	同	岡野 征郎	日本物理学会(広島大)
同	中桐 明和	日本機械学会九州総 会(九大)	同	大東 延久	電気四学会全国大会 (早大)・電子通信学 会(早大)
同	平根 喜久	電気学会(早大)	同	笠城 彰夫	錯塩化学講習会 (日本化学会)
同	嶋中 美友	航空機の安定問題に ついての研究会及び レムボジウム(東大)	同	城戸 勝義	日本物理学会(広島大)
同	伊勢 雅昌	応用物理学会(金沢大)	同	日下 克彦	第六回総合シンポジ ウム学会 (愛知県産業貿易館)
同	石井 康敬	G.O.Science 講演 会(日本化学会)	同	熊谷 信男	精機学会秋季大会 (愛知県中小企業センター)
同	石原 勲	日本伝熱研究会(東北 大) 機械学会講演会 (上智大)	同		精機学会東北支部講 演会(東北大)

同	小長谷正彦	電気四学会連合大会 (早大)	同	三原 尚武	日本体育学会(阪大)	同	吉富 二郎	語学教育研究会 (東大)
同	近藤 喜之	日本鋳物協会 (愛知県中小企業センター)	同	中	幼 稚 園	同	米田 和代	第三回新幼児教育研 究会(文京公会堂)
同	竹内 健吾	計測自動制御学会 (広島大)・情報処理 学会(機械振興会館)	同	岩倉 猛利	放送教育研究会全国 大会(長崎市)	同	渡辺百合子	千葉大附属幼稚園幼 児教育研究会 (千葉大附属幼稚園)
同	谷下 準一	蛋白質構造討論会 (名古屋市教育館講堂)光 地学討論会(東京工大)	同	清水 邦郎	教育課程研修会 (私学教育研修センター)	同	高橋 猛	語学教育研究会 (東大)
同	寺山喜久夫	日本物理学会(愛媛大)	同	中野 真作	日本近世文学会 (天理大)	同	中野 真作	第十四回日展作品観 賞(精養軒都美術館)
同	西田 脩	日本鋳物協会 (愛知県中小企業センター)	同	東野 周弘	第十四回日展作品観 賞(精養軒都美術館)	同	水成 五郎	体操講習会(玉川大)
同	久富 康義	日本物理学会(広島大)	同	水成 五郎	体操講習会(玉川大)	同		
同	藤井 拓蔵	日本機械学会中国、 四国支部総会(広島大)	同			同		
同	森下 昂	電気学会(早大)	同			同		
同	山内 英子	錯塩化学討論会 (広島大)	同			同		
同	横田 勝弘	日本物理学会(広島大)	同			同		
同	米原 紀吉	日本機械学会燃焼シ ンポジウム (日本化学会)	同			同		
同	副手 市村 直子	日本物理学会(広島大) 応用物理学会 (東京工大)	同			同		
同	岩井 静子	日本物理学会(広島大)	同			同		
同	岩崎 求	日本機械学会 (日本化学会)	同			同		
同	恩地由規子	日本建築学会(名大) 住宅委員会分科会 (日本建築会館)	同			同		
同	黒坂 義之	応用物理学会(金沢大) 日本機械学会燃焼シ ンポジウム	同			同		

同	高 英世	体操講習会(玉川大)	同	関西大学	文学論集	第十七卷
同	香川 明朋	理科(地学)研修会 (私学教育研修センター)	同	大学	文学論集	第四号
同	加藤 明朋	理科(地学)研修会 (私学教育研修センター)	同			
同	北川 昂	全国普通科高等学校 長会(虎ノ門ホール)	同			
同	住吉 久美	全国漢字漢文教育研 究会(工学院大)	同			
同	田卷 兵司	全国高校体育研究大 会(大和川高校)	同			
同	中西 雅彦	理科(地学)研修会 (私学教育研修センター)	同			
同	松井 武治	全国漢字漢文教育研 究会(工学院大)	同			

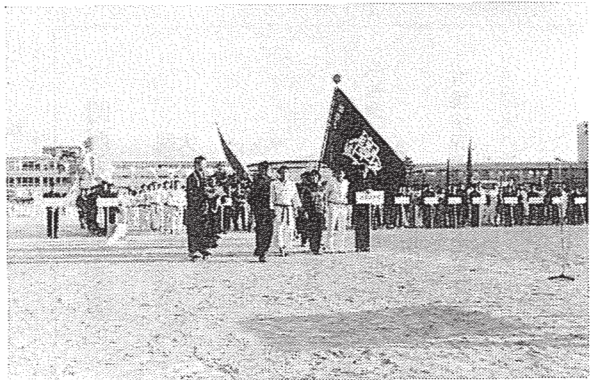
関西大学文学会編
 昭和四十三年一月刊 A5判 九一頁
 「社会主義論戦」における
 中国初期社会主義者たちの思想……………丸山 松幸
 万葉字音仮名と中国語音韻(一)……………鳥井 克之
 毛澤東の言語(二)……………芝田 稔
 一「湖南農民運動考察報告」にみる語彙の比較一



第七回千里祭

恒例の第七回千里祭は、「関西大学学友会千里祭実行委員会」（委員長 原野勝美君）を設けて、「自己疎外への挑戦・個性の認識と創造へ」をスローガンとして、「広く、深く大学の理念を追求し、現代社会における歪みからくる人間疎外を回復、克復し、人間の存在価値といったものをも含め、大学祭の本質を適確に把握し、明日への躍進の礎となる様あらゆる可能性を含んだ千里祭」（同委員会刊パンフレットより）にすべく、十一月二十日大阪毎日ホールでの「前夜祭」を皮切りに、十一月二十三日から同二十六日まで

での四日間多種多彩なスケジュールで大に開催された。まず、誠之館特別講堂では、連日に亘り、講演会、討論会、研究発表会、演奏会、演劇、映画等の各種催物が行なわれ、さらに、法・文学舎、経・商学舎、および大学院ホールでは、シンポジウム、講演会、映画等が催され、法・文学舎、経・商学舎では、文化会各々が競ってそれぞれ特色ある展示会を開き、また、工学部学舎では、各学科や工学研究会が研究成果や最近の機械を展示した。千里祭最終日十一月二十六日のフイナレは、第一グラウンドで吹奏楽パレード、各種競技、応援団演武、スポーツ行進と続き、阿波踊り、土人踊り、フアイアー・フェスティバル、タイムツイン進、花火、およびキャンドルサービスと四日間に亘った若人の情熱の名残りを留めつつ、千里丘陵の夕間の中に「第七回千里祭」の幕を閉じた。



（千里祭スポーツ行進）

全国大学サッカー選手権大会に優勝 サッカー部

第十六回全国大学サッカー選手権大会最終日は、十二月二十六日、東京・駒沢競技場で行なわれ、本学が中大を1-0で敗り、過去関東に握られつづけてきた栄冠を本学にもたらず全国初制覇の偉業を遂げた。

決勝

関大 1 (1010) 0 中大

大川選手優勝

— 冬季ユニバーシアード —

オーストリアのインスブルックで二十九カ国参加のもとに開催された一九六八年度ユニバーシアード冬季大会において、女子フィギュア・スケートに日本代表として出場していた大川久美子選手が優勝し、金メダルを獲得した。

女子フィギュア ①大川久美子（関大）
席次数5、一八一・七

（千里祭模擬店）



学生主要行事日誌

- 十月一日 アメリカン・フットボール部開
 西リーグ(関学グラウンド)・ヨッ
 ト部対中部自衛隊・野球部対近
 大戦(十月二日まで)
- 十月二日 相撲部第八回対実業団
 相撲部第七回志賀大会
 体育部長会(二部)
- 十月三日 航空部合宿(富山空港、十月三十一
 日まで)・弓道部連盟定例会
- 十月四日 応援団開港百年祭・グリークラ
 プ合唱コンクール(四天王寺会館)
 ・寮生バスツアー(二部)
- 十月五日 ラテン・アメリカ研究部ブラジ
 ル講座
- 十月六日 経済学部自治会ベトナム反戦会
 合気道部合宿(伊丹)・ハンドボ
 ール部秋期リーグ戦(十一月七日ま
 で)
- 十月七日 法学部自治会十・二一スト支援
 会・弓道部連盟定例会・剣道部
 対府警学校(凱風館)・庭球部合
 同練習・野球部対同志社戦(西京
 橋、二十一日・二十三日)・グリーク
 ラブ合宿(能勢教会、十月二十三日ま
 で)・英語研究部青山学院大と
 の交歓
- 十月八日 空手道部合宿(高知市、十月二十八
 日まで)・アメリカン・フットボ
 ール部対京大戦(関学グラウンド)・弓
 道部対竜大戦・山岳部日曜山行
 (六甲山)・ラグビー部対京大戦
 ・洋弓部三大学対抗戦(工大)・ワ
 ンダーフォーゲル部合宿(紀伊半
 島、十月三十一日まで)・史跡研究部
 史跡見学(西の京)
- 十月九日 バトミントン部全日本学生中央
 体育館
- 十月十日 学友会主催講演会
 学友会主催講演会・ゴルフ部十
 月マンスリー(能勢C.C)・山岳
 部秋山合宿(北アルプス、十一月八日
 まで)
- 十月十一日 名画鑑賞会(於特別講堂)・応援
 団全国相撲応援打合せ会(府立体
 育館)
- 十月十二日 射撃部三大学定期戦(京都)・相
 撲部全日本大会(府立体育館)・軟
 式庭球部関西六大学戦(同大)・
 野球部対関西学院大(日生球場)・
 映画研究部16ミリ映画(本学)・
 交響楽団青少年音楽祭(西宮市民
 会館)
- 十月十三日 弓道部秋期リーグ(十一月三日ま
 で)・庭球部対同志社大定期戦
 (同大)・洋弓部新人戦(長居グラ
 ウンド)・ラグビー部対天理大・グ
 リーククラブ関西合唱大会(高槻市
 民会館)・能楽部秋期正花会(山本
 能楽堂)
- 十月十四日 第三回レコードコンサート(特別
 講堂)
- 十月十五日 卓球部西日本選手権(広島)
- 十月十六日 ハンドボール部秋期リーグ(十一
 月七日まで)・庭球部関西リーグ
 (十一月二日まで)・軟式野球部秋
 期リーグ(十一月八日まで)・美術
 部四クラブ合同展(サンケイホ
 ール、十一月六日まで)・ラテン・ア
 メリカ研究部ブラジル講座
- 十月十七日 射撃部全関西ライフル(大阪城、
 十一月三日まで)・卓球部西日本
 大会(広島)・バレーボール部全日
 本大会(東京、十一月五日まで)・洋
 弓部対立教戦(本学)・奇術部合
 宿(山の家、十一月五日まで)・落語
 大学賛助出演(園田大学)・グ
 リーククラブ東播工演奏会(東播工)
 ・邦楽部合宿(柏原市、十一月五日
 まで)
- 十月十八日 弓道部対近大戦(十一月四日まで)
- 十月十九日 剣道部対関学戦(関学)・アメリ
 カン・フットボール部対立命戦
 (西宮)・庭球部関西新人戦(宝塚
 十一月十三日まで)・マンドリンク
 ラブ合宿(二色ヶ浜、十一月九日まで)
- 十月二十日 速記部親睦会(箕面、十一月四日ま
 で)・珠算部近畿高校大会・落
 語大学賛助出演(成安大他)・探
 検部合宿(大峰山、十一月五日まで)
- 十月二十一日 商学研究部西日本統計学(大商
 大)
- 十月二十二日 空手道部全日本大会(武道館)・
 軟式庭球部関西新進(宝塚、十一月
 五日まで)・洋弓部インターカレ
 ツジ(長居、十一月五日まで)・馬術
 部全日本王座馬車公衆(十一月十六
 日まで)・落語大学賛助出演(梅花
 大他)
- 十月二十三日 弓道部対関学戦・重量挙げ部関々
 戦・ホッケー部対関学戦・ラグ
 ビー部対神大戦・サッカー部対
 京大戦(西宮球場)・落語大学
 賛助出演(桃山大他)
- 十月二十四日 アイスホッケー部五大学リーグ
 戦
- 十月二十五日 ワンダーフォーゲル部四大学合
 戦
- 十月二十六日 同キャンブ(鉢伏高原、十一月十二日
 まで)・バドミントン部大阪選手
 権(阿倍野、十一月九日まで)・児童
 文化研究部千里祭子供劇場・英
 語研究部対関学ミーティング
- 十月二十七日 弓道部対同志社大
- 十月二十八日 アイスホッケー部五大学リーグ
 (京都アリーナ)・ギター部定期演
 奏会(毎日ホール)
- 十月二十九日 卓球部全日本大会(十一月十二日ま
 で)
- 十月三十日 映画研究部関西連盟総会・奇術
 部慰問(堀川小学校)・学園祭(二
 部十一月十四日まで)
- 十一月一日 アメリカン・フットボール部開
 西リーグ対甲南大(関学グラウンド)・
 器械体操部関西大会・剣道部全
 日本団体(日本武道館)・サッカ
 ー部関西リーグ対経大(西宮球場)
- 十一月二日 速記部関西学生競技・能楽部
 中央大交歓会
- 十一月三日 アイスホッケー部五大学リーグ
 (ナンパ・リンク)・剣道部対慶応
 定期戦(慶大道場)・射撃部対近
 大練習・ハンドボール部西日本
 王座決定(中央体育館)・軟式野球
 部対明大定期戦(立川、十一月十五
 日まで)・児童文化研究部千里祭
 子供劇場
- 十一月四日 軟式庭球部大阪選手権(服部緑地)
- 十一月五日 ・奇術部学外発表(総)(関電ホ
 ール)
- 十一月六日 広告研究部明大、関大、中央大
 交歓会(中央大)・商学研究部・
 関西経営学会(同大)
- 十一月七日 ラグビー部対社会人対抗(花園ラ
 グビー場)・航空部全国大会(埼玉

興、十一月二十六日まで）・奇術部
 外発表会(関電ホール)・マンドリ
 ンクラブ定期演奏会(毎日ホール)
 ・児童文化研究部子供劇場・ユ
 ネスコ研究部創立二十周年(中央
 公会堂)
 弓道部連盟定例会・合気道部合
 同練習(大経大)・ハンドボール
 部大阪選手権(府立大)・児童文
 化研究部子供劇場(十一月十九日ま
 で)・商学研究部西日本経営学
 会(松山商大)
 十九日
 ラグビー部対関学大・拳法部全
 日本選手権(府立体育館)・自動
 車部全日本学生大会(東京小金井)
 ・軟式庭球部関西インドアホッ
 ケー部全日本大会(東京、十一月二
 十六日まで)
 二十日
 千里祭前夜祭・山岳部日曜山行
 (六甲ロックガーデン)・射撃部対中
 央大戦(朝霞)・バドミントン部
 関西リーグ(西京極)・フェンシ
 ング部関西個人大会(愛知県民体育
 館)
 二十一日
 射撃部対法大定期戦(朝霞)
 二十三日
 射撃部対早大定期戦(朝霞)
 千里祭(十一月二十六日まで)・ア
 メリカン・フットボール部対関
 学(西宮球場)・庭球部対関学練習
 ・器械体操部対明大定期戦・フ
 エンシング部対OB総会・射撃
 部全日本ライフル(朝霞)
 二十四日
 アイスホッケー部五大会リーグ
 (ラザンク)・レスリング部西日
 本学生大会(府立体育館)・スキー
 競技部合宿(白馬)
 二十五日
 混声合唱団ひびき演奏会(サンケ
 イホール)・スペイン語研究部全
 日本イスペイン弁論(南山大)
 二十六日
 庭球部OB招待会・ラグビー部
 対同大・ゴルフ部関西リーグ
 (大商大)(西宮球場)・ホッケー部
 対法大定期戦・洋弓部OB総会
 ・邦楽部OB会
 二十七日
 応援団吹奏楽部合宿(吹田カトリッ
 ク教会、十一月三日まで)・射撃部東
 西六大学戦(朝霞)・美術部白鷺
 会展(現代画廊、十二月三日まで)・
 史学研究部コンパ
 二十九日
 商学部自治会岡倉古志郎講演会
 ・フェンシング部大学対抗個人
 (西京極、十一月四日まで)・ハンド
 ボール部対中京大定期戦・アイ
 ススケート部合宿(軽井沢、十月
 五日まで)・ラテンアメリカ研究
 部ブラジル講座
 三十日
 珠算部全日本連盟リーダースキ
 ャンプ(京都本能寺)
 十二月一日
 航空部合宿(岡山空港、十二月八日ま
 で)・庭球部三大学定期戦(十月
 三日まで)・体育会役員交代会・
 ポート部練習(新渡川、十二月十八
 日まで)・スキー競技部合宿(白馬
 一月十四日まで)・映画研究部全日
 本連盟祭(十一月二日まで)・写真
 部関西連盟(十二月七日まで)
 二日
 軽音楽部定期演奏会(毎日ホール)
 ・写真部演説会
 三日
 弓道部記念射会・サッカー部対
 関学戦(西宮球場)・ラグビー部
 対大経大戦・茶道部やわらき会
 総会(山科観音寺)
 四日
 応援団吹奏楽部第六回定期演奏
 (中之島ホール)・バスケット部全
 日本学生大会(代々木別館、十一月八
 日まで)・映画研究部全日本連盟
 祭(十一月五日まで)・国際問題研
 究部講演会・史学研究部関学との
 交歓会・学生会執行委員会
 (二部)
 五日
 文学部自治会講演会・合気道部
 連盟会議・フェンシング部対法
 政大戦・自治委員会(二部)
 六日
 放送研究会関西連盟委員会・バド
 ミントン部全日本総合(横浜、十
 二月十日まで)・交響楽団第十九回
 定期演奏会(御堂会館)・ラテン
 アメリカ研究部ブラジル講座
 八日
 千里祭反省会・軽音楽部六大学
 演奏会(厚生会館)・自治委員会
 (二部)
 九日
 美術部関西連盟展(市立美術館、十
 二月十四日まで)・落語大学引退公
 演・英語研究部第六回関西ドラ
 コン・海外調査研究部合宿(十二
 月十一日まで)・体育会納会・文化
 会リーダースキヤンプ(生駒、十
 二月十日まで)
 十日
 放送研究会ドラマコンクール・
 陸上競技部関西駅伝・速記部全
 日本学生大会(早大)・ユース・
 ホステルクラブソフトボール大
 会・落語大学講演会・経済研究
 部講演会
 十一日
 フェンシング部近大定期戦
 十二日
 グリークラブ第九回定期会(毎日
 ホール)
 十三日
 山岳部冬山合宿(北アルプス、一月
 六日まで)・レコードコンサート
 (二部)
 十四日
 自治委員会(二部)
 十五日
 放送研究会全日連大会(本学、十
 二月十六日まで)・アイススケート
 部合宿(長野県、十二月三十日まで)
 十六日
 能楽部関西連盟大会(大槻能楽堂)
 十七日
 放送研究会ラジオドラマコンク
 ール
 十八日
 吟詩部全国連盟発表会(四天王寺
 会館、十二月十九日まで)
 十九日
 英語研究部対関学交歓会
 二十日
 軽音楽部演奏会(御堂会館)
 二十一日
 サッカー部全国選手権(駒沢、十
 二月二十六日まで)・美術部十九回
 白鷺展(天王寺美術館、十一月二十八
 日まで)・探検部山岳技術研修会
 (北アルプス、一月七日まで)
 二十四日
 航空部合宿(岡山空港、十二月二十九
 日まで)
 二十五日
 独文学研究部交歓会・応援団役
 員会(二部)
 三十日
 アイススケート部合宿(松原湖、
 一月三日まで)
 一月一日
 探検部冬期合宿(北アルプス、一月
 七日まで)・山岳部冬山合宿(北ア
 ルプス、一月五日まで)・スキー競技
 部合宿(白馬、一月十四日まで)・ラ
 グビー部全日本学生(秩父宮、一月
 七日まで)
 三日
 アイス・スケート部合宿(苫小牧
 一月十二日まで)
 四日
 バスケット部全日本総合(代々木
 別館、一月十日まで)
 七日
 応援団能勢妙見参詣(二部)
 八日
 航空部合宿(八尾空港、一月十一日ま
 で)
 十日
 スキー学校第一回打合せ会

- 十一日 合気道部関西連盟会
 十三日 広告研究部関西連理事會・応援団新年宴会(二部)
 十五日 航空部合宿(八尾空港、一月十八日まで)・体育会本部能勢妙見参詣
 十八日 文学部自治会エンタープライズ寄港抗議集会(一月十九日まで)
 十九日 体育会本部サッカー祝勝会
 二十日 サッカー部社会人対抗(王子競技場)
 二十八日 陸上競技部西日本大会(奈良公園)
 二月三日 学友会執行委員会・スキー学校申込受付
 四日 児童文化研究部愛育社訪問(堺市)
 十七日 児童文化研究部新役員合宿(藤沢市、二月十九日まで)
 十八日 第一次スキー学校(黒菱山の家、二月二十二日まで)
 二十日 探検部沖繩遠征(二月十五日まで)・スキー競技部合宿(白馬、三月三十一日まで)
 二十一日 経済学部自治会講演及び討論会・探検部台湾調査(三月十四日まで)・混声合唱団ひびきサヨナラ・コンサート(サンケイビル内)・自動車部合宿(三重県、三月十二日まで)・学友会執行委員会(二部)・自治委員会(二部)
 二十二日 写真部合宿(高山)・ゴルフ部追出しコンパ(スポーツ日本C)
 二十三日 第二次スキー学校(黒菱山の家、二月二十六日まで)
 二十四日 ワンダーフオーゲル部合宿(鉢伏高原、三月四日まで)・校友会、学友会代表懇談会(二部)
 二十五日 ゴルフ部合宿(兵庫県、三月二日まで)・山岳部合宿(比良山、三月十九日まで)・陸上競技部全日本断行競争(奈良公園)
 二十六日 商学部自治会スキー講習会(黒菱山の家、三月一日まで)・合気道部合宿(伊豆、三月五日まで)
 二十七日 国際問題研究部春季全国ゼミ(湯河原、三月十九日まで)・航空部単独合宿(岡山空港、三月五日まで)
 三月一日 放送研究会「学園生活」作成(三月九日まで)・ホッケー部連盟会議・探検部合宿(北アルプス、三月三十一日まで)・ポート部活動(球磨川、三月十二日まで)・海外調査研究部合宿(台北、三月二十一日まで)
 三日 陸上競技部福知山マラソン
 四日 応援団連盟会議・ヨット部自衛隊入隊(舞鶴、三月八日まで)・スキー学校説明会(二部)
 五日 文学部自治会三里塚国際空港阻止・航空部関々戦(岡山空港、三月十三日まで)・野球部合宿(土佐、三月十八日まで)・能楽部合宿(徳島県、三月十二日まで)
 学術研究会本部合宿(吹田、三月八日まで)
 六日 日まで)
 八日 グリークラブ合宿(小豆島、三月十一日まで)・スキー学校出発(二部、三月十三日まで)
 九日 剣道部合同練習(修道館)
 十日 卓球部合宿(岡山、三月十四日まで)・山岳部合宿(北アルプス、四月二日まで)・空手道部昇段審査会
 十一日 アーチェリー部連盟会議・写真部卒業展
 十二日 スキー競技部全関西選手権(赤倉、三月十八日まで)・剣道部合宿(松山南六、三月十八日まで)・パレーポール部遠征合宿(西日本、三月二十九日まで)
 十三日 ホッケー部連盟会議・能楽部連盟リキヤン(西宮市)
 十五日 放送研究会新入生ガイダンス(三月三十一日まで)・学術研究会本部リキヤン(滋賀県、三月十七日まで)・応援団春季合宿(高知県、三月二十一日まで)
 十六日 アメリカン・フットボール部合宿(小豆島、三月二十三日まで)・観光事業研究部沖繩公募旅行(三月二十日まで)
 十七日 軟式陸球部合宿(松山、三月二十五日まで)・ハンドボール部合宿(串本、三月二十四日まで)
 十九日 応援団連盟会議・スキー競技部合宿(白馬、三月三十一日まで)・卓球部韓国遠征(三月二十六日まで)・ヨット部合宿(四宮、三月二十七日まで)・マンドリンクラブ合宿(浜寺、三月二十四日まで)
 二十二日 器械体操部合宿(徳島、三月二十九日まで)
 二十三日 野球部日本熱学戦・千里山法律学会合宿(二月二十五日まで)
 二十四日 法学部自治会映画と講演会・フエニング部合宿(鳥取、四月二日まで)・野球部対篠崎倉庫・パドミントン部合宿(徳島県)
 二十五日 邦楽部合宿(大和郡市市、三月三十一日まで)
 二十六日 放送研究会卒業式テレビ中継・アーチェリー部対甲南大定期戦
 二十七日 奇術研究部合宿(兵庫県、三月三十日まで)・児童文化研究部合宿(箕面、三月三十日まで)
 二十八日 軽音楽部演奏会(サンケイホール)・混声合唱団ひびき合宿(豊中)・史学研究部合宿(福井、三月三十日まで)
 三十日 野球部対電々近畿戦(大宮グラウンド)・交響楽団連盟会議
 (十一頁より続く)
 会が開催され、出席者二九五名を数える盛会であった。席上、学界第一線の四四氏の執筆による『末永先生古稀記念古代学論叢』(B5判・七三頁)が澄田正一名大教授の手から末永博士に贈られ、また記念品代として金巻封が斎藤忠東大教授によつて贈呈された。中谷学長・八幡委員長以下の内外の知名人の祝辞がつづき、同八時散会した。三十日は午前九時大阪駅西口に集合、すべて一七〇名が三台のバスに分乗し、唐古池遺跡―藤原京跡―大和歴史館―新沢千塚―飛鳥京跡―真弓鐘子塚などを見学、本学講師網干善教氏の臨地の説明があり、午後七時大阪駅に帰着、解散した。



校友 バッチ
友 友

校友 総会

昭和四十二年年度の校友総会は、去る十一月十八日(土)午後四時から、大阪市都島区の太閤園で、約八百名の校友が出席して盛大に開催された。

総会は、司会担当の坂本竜夫総務部長の開会宣言に始まり、榎本会長の事業報



昭和42年度校友総会

告並びに会計報告後、大学から、久井理事長、中谷学長が大学の近況を報告し、大月伸顧問の音頭で乾杯、第一部を終了した。

続いて、第二部に移り、堺すすむ、横山ホットブラザーズ、泉あつの、池久美子等の余興、および福引き抽せん会が行なわれ、最後に、逍遙歌を合唱しながら一同万歳を三唱して総会の幕を閉じた。

正井、関両先生の叙勲祝賀会

四十二年秋の叙勲で、名誉教授・元学長正井敬次先生は多年教育に尽された功績で勲三等旭日中綬章を、また大学顧問関豊馬先生は多年調停委員としての功績で勲五等双光旭日章を拝受され、その祝賀会が有志の発起で、十一月二十五日午後二時半から梅田の新阪急ホテルで開かれた。

発起人を代表して榎本校友会長から挨拶、久井理事長、中谷学長から両先生に祝辞を呈し、出席者を代表して象彦の松鯉時絵花瓶を正井先生に中川名誉教授から、関先生には顧問中務平吉氏から記念品として贈呈した。両先生から心からの謝辞があつて吉田評議員会議長の音頭で乾杯し、歓談の後、岡野校友会前会長の発声で万歳を三唱し宴を閉じた。

役員 会

- 十月九日 開大会館分館設置促進委員会
- 十一月二日 開大会館分館設置促進委員会
- 六日 部長連絡会
- 九日 総務部会
- 十三日 事業部会
- 十六日 部長連絡会
- 二十日 部長連絡会
- 二十九日 広報部会
- 十一月五日 開大会館分館設置促進委員会
- 十三日 開大会館分館設置促進委・会長 答申

- 二十六日 第二回大学・校友会懇談会
- 一月十日 新年互礼会
- 二月八日 正・副会長・部長会
- 十二日 教育後援会との懇談会
- 十六日 事業部会
- 二十日 総務部会
- 二十三日 広報部会
- 二十四日 二部校友会執行部との懇談会
- 二十六日 組織部会
- 二十七日 財務部会
- 三月二日 部長連絡会
- 八日 常議員会
- 十五日 正・副会長会
- 二十一日 組織部会
- 二十三日 定例代議員会
- 二十五日 校友名簿委員会
- 二十八日 広報部会
- 二十九日 訪韓打合せ会

校友 活動

- 十月五日 十三会
- 六日 東京支部総会

支部 総会

- 七日 鳥取支部総会
- 八日 昭友会
- 十四日 豊中支部総会・京都支部総会 会館コーヒー教室開催
- 二十日 開大経済人クラブ第十三回例会
- 二十二日 備後支部総会
- 二十五日 開大大阪クラブ秋季懇親会
- 十一月八日 友祥会総会
- 十一日 西支部総会
- 十二日 南勢支部総会
- 十四日 東成支部役員会
- 十五日 法曹開大会総会
- 十八日 昭和四十二年度校友総会
- 十九日 十四会
- 二十二日 日立造船開大会総会
- 二十五日 正井・関両先生叙勲祝賀会
- 二十七日 南支部総会
- 十二月二日 福井支部総会・泉佐野支部総会 国鉄開大会総会
- 三日 摂丹多可支部結成総会
- 六日 昭六会総会
- 十八日 京都支部洛陽クラブ総会
- 二十日 神戸開大クラブ総会
- 一月二十二日 十八会
- 二十四日 児玉氏を囲む会
- 二十五日 尚志会総会
- 二十六日 近鉄支部総会
- 二十七日 岸和田支部総会
- 二月二日 開大経済人クラブ第十四回例会
- 二十五日 広田会総会
- 三月四日 大阪市役所支部総会



関西大学社会学会編

関西大学 社会学論集 第一卷 第四号

昭和四十三年一月刊 A5判 九三頁

内 容

ドラツカーの自治的工場共同体論について.....奥田幸助
戦後労働経済分析の諸論点(1).....嶺学
一貨金形態論一
技術革新の産業経済政策.....小谷節男
A Factor Analytical Approach to Market Segmentation.....Akira Ishikawa

関西大学 工学部編 工学研究報告 第九号 昭和四十二年十二月 B5判 120頁

MECHANICAL ENGINEERING:
On the improvement of on-off control system with series compensation.
.....By Hiroo KITANO, Teruo TANAKA and Yoshifumi KOGITA
Study on the cylindrical grinding by the cup type grinding wheel -On the effects of the crosshatch angles-
.....By Nobuo KUMAGAI and Yukio TANAKA
ELECTRICAL ENGINEERING:
Several characteristics of "PHOTO-CATHODE OSAKA TUBE" working as a detector at microwave frequencies.
.....By Nobuhisa OHIGASHI and Masanobu MORITA
CHEMICAL ENGINEERING:
Absorption spectra of rhodamine B in organic solvents and behaviour of its extraction.....By Hiromu IMAI
The t-butylation of phenol with t-butylbenzene.
.....By Kazuyoshi ITOH, Yukihiro KADOKAWA, Sawako HAMANAKA and Masaya OGAWA
Alumina-molybdena catalyst (II)
-The polymerization of ethylene and propylene-
.....By Yasutaka ISHII and Ikuya MATSUURA
Studies on the lithium chloride-water absorption refrigerating machine.....By Tadashi UEMURA
METAL ENGINEERING:
Behavior of some components in solid-liquid reaction between 18-8 stainless steel and aluminum.
.....By Masatoshi TSUDA and Shoichi EGAWA
INDUSTRIAL ENGINEERING:
On the estimates of the unknown parameters in the multivariate distribution with the intraclass correlation.
.....By Kusunori KOGO
CIVIL ENGINEERING:
Approximate solutions for a conductive sphere in a dipole field.
.....By Keiichiro TANIGUCHI
Architecture:
On the common facilities planning (especially shops and clinics) in urban multiple dwelling site.
.....By Ishio NONOMURA and Yukio ONCHI

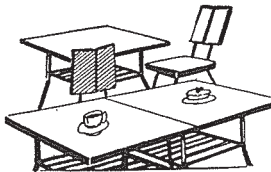
関西大学法学会編

関西大学 法学論集 第一七卷 第五号

昭和四十三年三月刊 A5判 一〇四頁

内 容

戸婚田土の案.....奥村郁三
民事訴訟における「正当な当事者」に関する研究(三).....福永有利
一ドイツにおける学説の変遷一
第一次更正処分の取消訴訟は第二次更正処分の行われた後はその利益を失うか.....村井正
一更正処分の取消訴訟の訴訟物は何か一
ラヌロー『個人本位・社会本位と政治権力』.....原英次
クラウス・ロッシン『正犯と行為支配』(三).....中義勝



昭和四十三年三月三十日発行 (非売品)

関西大学学報 第三五〇號

大阪府吹田市山手町三丁目三番三十五号
編集兼 発行 関西大学出版部
電話大阪(三八八)一一二二番
振替 大阪二六七七二番

大阪府北区川崎町三八
印刷所 ナニワ印刷株式会社
電話(三五)七二七一番

関西大学法学会編

関西大学 法学論集 第一七卷 第六号

昭和四十三年三月刊 A5判 九四頁

内容

- 建設利息配当と株式の種類……………菱田 政宏
- ソ独戦前夜のソ連の戦争準備について(一)……………平井 友義
- 英国海上運送契約における……………岩崎 憲次
- フラストレーション法理(一)……………福永 有利
- 民事訴訟における「正当な当事者」に関する研究四……………福永 有利
- ドイツにおける学説の変遷—

関西大学経済学会編

関西大学 経済論集 第十七卷 第六号

昭和四十三年二月刊 A5判 一五〇頁

内容

- 大阪堂島米商会所の創立……………津川 正幸
- 参入阻止価格と限界原理……………玉木 興乘
- 体化された技術進歩についての若干の覚書……………矢野 恵二
- サミュエル・ゴムパースの伝記風の素描(VI)……………小林 英夫
- サムエル・ゴムパース研究のための覚書(六)—
- マーケティング・セオリー形成への……………市川 浩平
- 経済学的アプローチ—
- E・T・グレンザーの理論を中心として……………岡本 裕次
- マルサスの場合—
- 古典派の国富増進論に於ける覚書……………岡本 裕次
- 正井敬次著『利子学説の研究』……………森川 太郎
- 国民金融公庫調査部編『日本の小零細企業』……………田中 充郎
- S・B・リンダー著……………小田 正雄
- 『発展のための貿易理論と貿易政策』……………小田 正雄
- S・ワイントロープ著……………浅田 正雄
- 『雇用成長と所得分配についてのケインズ流理論』……………浅田 正雄

関西大学文学会編

関西大学 文学論集 第十七卷 第五号

昭和四十三年三月刊 A5判 五九頁

内容

- 『黄金の盃』覚書(一)……………多田 敏男
- マガキの姿貌—
- レオ・ウァイスゲルバー……………福本喜之助
- 『社会の認識形式としての言語』……………福本喜之助
- 十七世紀ドイツ文語史からみた—
- 外来語の問題とドイツ国語協会の意義について(五)……………福本喜之助

関西大学商学会編

関西大学 商学論集 第十二号 第四・五・六合併号

昭和四十三年二月刊 A5判 二二四頁

内容

- 欧州における経営教育と権威主義……………富山 忠三
- 十六世紀におけるイスパニアの交通事情……………宮下 孝吉
- ケインズ経済学の貨幣的側面についての一考察……………安田 信一
- 協働体系・組織から管理へ……………飯野 春樹
- バーナード理論の一考察—
- 支持点メカニズムと外国為替操作……………木村 滋
- ポットフォリオ・セレクション・アプローチ—
- 人事管理発展史研究……………高堂 俊彌
- 第一部 人事管理成立史論—
- 短期利益計画計算としてのC・V・P分析の課題……………末政 芳信
- ミリタリー・マーケティング論の展開のために……………保田 芳昭
- 森下次也教授の所説を中心として—

昭和四十三年三月三十日発行 関西大学學報 第三五〇号

編集兼 発行

大阪府吹田市山手町三丁目三番三十五号 関西大学出版部 電話大阪(三八八)一〇二二番 振替大阪(二六七)二七二番

印刷所 ナニワ印刷株式会社 電話(三五)七二七一